

平成25年度

宮崎県立図書館要覧



目 次

【第1部】

1 運営方針	2
2 目 標	3
3 平成25年度重点推進事項	6
4 組 織	7
5 当初予算	8

【第2部】

1 資料概要	10
(1) 配架別・分類別資料数	10
(2) 資料購入の推移	11
(3) 資料整備状況	11
資料受入	11
資料受入区分別・分類別資料数	11
(4) 保存資料(マイクロフィルム)の所蔵状況	11
2 事業実績	
(1) 館内利用事業	12
貸出利用総括	12
貸出利用地区別内訳	13
館内利用状況	14
入館者数・登録者数・貸出冊数	14
分類別図書貸出冊数	15
AVコーナー資料の利用状況	15
読書振興室利用状況	16
情報相談(レファレンス)	16
YA(ヤングアダルト)サービス	16
児童サービス(読み聞かせ)	17
ビジネス支援サービス	17
健康情報サービス	18
インターネットコーナーの利用状況	18
複写利用状況	18
(2) 館外利用事業	19
巡回文庫<市町村支援事業><大量貸出支援事業><学校支援事業>	19
学校支援「セット文庫」	20
親子の絆を深める子育て読書推進支援事業	21
団体文庫	22
児童教育施設等	22
(3) 図書館ネットワーク事業	23
(4) 視聴覚事業	24
視聴覚資料等貸出利用状況	24

視聴覚行事	24
(5) 関係機関と連動した情報発信事業	27
県政の重点施策情報発信事業	27
主催事業	29
共催事業	29
(6) 文化活動事業	30
第54回「こどもの読書週間」記念行事	30
第66回「読書週間」関連事業	30
特別展示等	31
郷土史料等学習活動 <宮崎県文化講座> <古文書解読講座>	32
子どものための言語文化講座	33
(7) 郷土資料調査研究事業	34
(8) ホームページ活用事業	34
(9) 体験学習・施設見学	35
(10) 「かば先生文庫」の創設	35
3 各種協議会等	
(1) 県立図書館協議会	36
協議会委員	36
開催状況	36
(2) 宮崎県公共図書館連絡協議会	37
役員名簿	37
事業実績	37
表彰者名簿	38
(3) 宮崎県地方史研究連絡協議会	39
事業実績	39
役員及び加入団体	39
(4) 宮崎県立図書館資料推薦委員	41

【参考資料】

1 沿革	
(1) 県立図書館のあゆみ	43
(2) 歴代館長名	52
2 県立図書館条例・規則	
(1) 県立図書館条例	53
(2) 県立図書館管理規則	53
(3) 県立図書館協議会運営規則	58
3 施設概況	59
4 利用案内	60
5 宮崎県内市町村立図書館一覧	61

【 第 1 部 】



「税を考える週間」特別企画展
～ 税の作品展 ～
(県政の重点施策情報発信事業)

県立図書館では、県民の皆さんに県の重点施策や地域の課題等を迅速かつ正確に周知させるとともに、個人や地域の課題等の解決を積極的に支援し、「人づくりと地域づくり」に役立つことを目的に「県政の重点施策情報発信事業」を実施しています。

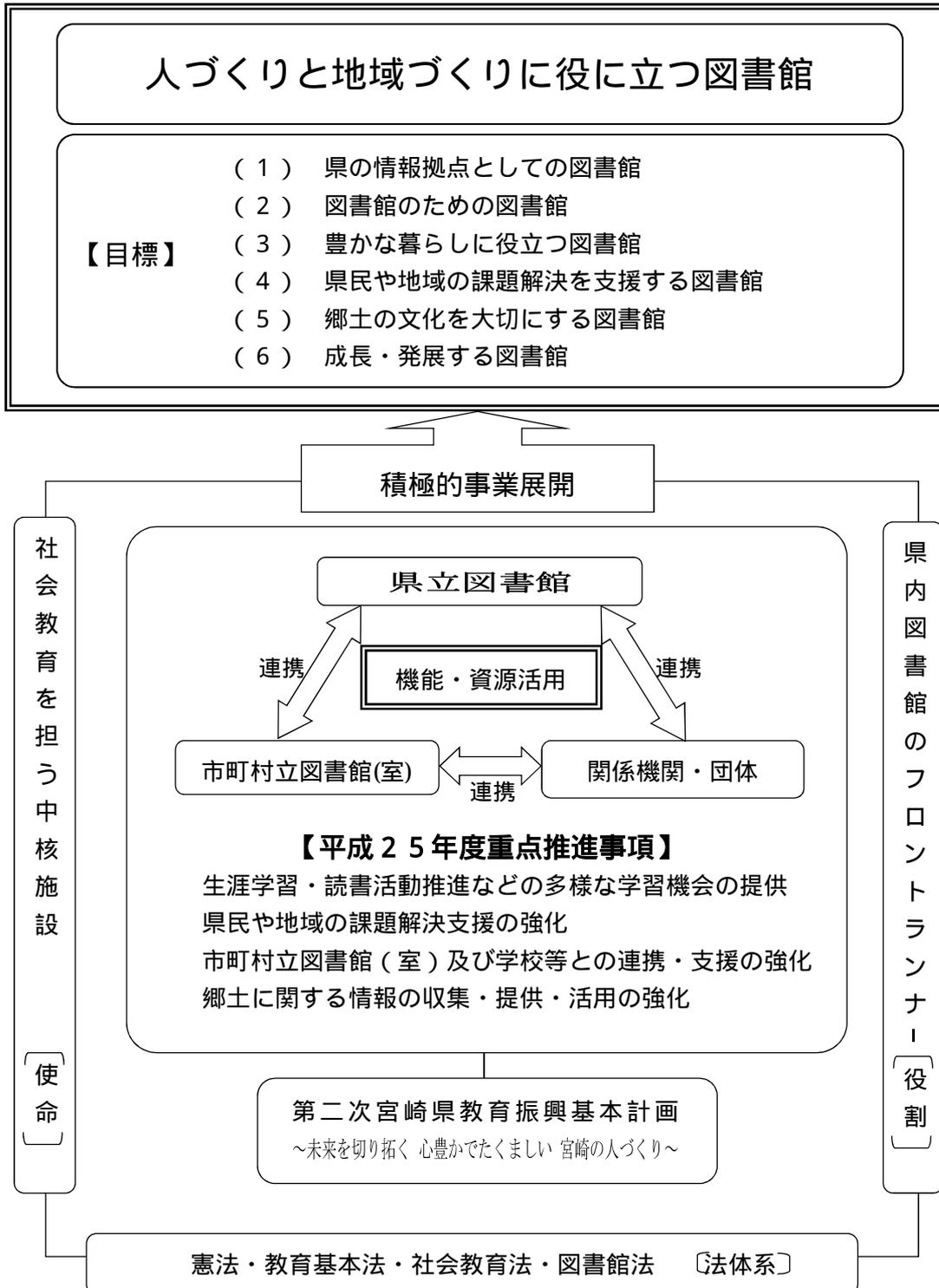
平成24年度は、県や国及び関係機関と連携して、26の事業に関する企画展やセミナー、相談会等を実施しました。

平成25年度宮崎県立図書館運営方針等について

1 運営方針

宮崎県立図書館は、図書館法並びに本県の教育振興基本計画等に基づき、社会教育を担う中核施設としての使命を踏まえ、県民のため「人づくりと地域づくりに役に立つ図書館」をめざして、次の目標を掲げます。

そして、この目標に向けて市町村立図書館・室や関係機関・団体等と連携を図り、県内図書館のフロントランナーとして、図書館の機能と資源を活用しながら積極的に事業を展開します。



2 目 標

(1) 県の情報拠点としての図書館

県民の情報センターとして、過去・現在・未来にわたる県民や社会のニーズに応じた積極的な情報収集と情報発信を行います。

県民の生涯学習の推進のため、県立図書館と市町村立図書館相互の情報のネットワーク化を図るとともに県内の貸出しサービスに努めます。

より多くの県民が来館し、文化・歴史等に親しめるよう、多様な資料の整備に努めるほか、機能の充実とサービスの向上に取り組みます。

県民の必要とする情報や資料を収集・整理・加工して多様な情報発信を行います。

図書館のハイブリッド^(注1)化を進め、レファレンスサービス^(注2)の充実とともに、利用者の利便性の向上を図ります。

情報リテラシー^(注3)教育に努め、インターネット等を活用し利用者が求める情報への的確な案内を行います。

注1：印刷媒体とインターネット等による電子媒体を組み合わせ利用が可能。

注2：利用者の調査や研究に必要な資料及び情報を提供するサービス。

注3：さまざまな情報源の中から必要な情報を検索し、検索した情報を正しく評価し、活用する能力。

(2) 図書館のための図書館

県の中核図書館として、県民の「誰もが・いつでも・どこでも」図書館サービスの恩恵を享受できるよう、県全域で均衡ある読書環境の整備を図るとともに、県内図書館のフロントランナーとして先駆的事業を展開します。

市町村立図書館（室）や学校図書館を支援するとともに、国立国会図書館や他県立の図書館等と連携した資料の相互の貸借など読書環境の整備を図ります。

市町村立図書館等に対する地域に根ざした先進的サービスモデルの提供に努めます。

県内図書館のパイプ役として市町村立図書館等への積極的な情報提供を行うとともに、情報交換・交流の場を提供します。

県内図書館のサービスの向上のため、図書館等職員の資質向上・技術習得につながる研修を実施します。

(3) 豊かな暮らしに役立つ図書館

県民が生涯にわたって、新たな発見や心豊かで快適な生活をおくることができるよう、必要な資料や情報及び多様な学習機会等を提供します。

県民が豊かで安全・安心な生活をおくるため、健康や暮らしに関する資料・情報を関係機関とも連携して、積極的に提供します。

「みどりの図書館」として、「自然と共生した環境にやさしい社会」づくりに取り組む県民の環境学習を支援するため、宮崎県環境情報センター等の関係機関と連動した資料の提供や情報の発信を行うとともに、各種の学習機会の提供を行います。

県民の豊かな感性、創造力、表現力などを育み、生活をより豊かにするため、視聴覚事業等を行います。

シニア世代が社会でいきいきと活躍し、生活をするための情報と学習機会を提供します。

子どもの読書活動の支援・推進のため、子育て読書推進支援や読み聞かせの実施に努めます。

(4) 県民や地域の課題解決を支援する図書館

県民や地域の課題解決に役立ち、宮崎の発展を支える情報拠点として、明日の宮崎づくりを進める県民の学習を支援します。

地域の課題解決のため、県行政機関等へのレファレンスサービスや県政の重点施策と連動した情報発信事業等の政策支援を行います。

起業・就農など力強い産業の営みを支援するため、大学や民間企業を含む関係機関と連携し、レフェラルサービス^(注4)の充実を図り、ビジネス支援サービスなどの社会人支援を行います。

県民が自ら学ぶことにより、それぞれの課題の解決に生かすことができる実践的な学習活動を支援します。

児童サービスやヤングアダルト^(注5)サービスの充実を図るとともに、学校支援を通して、子どもの読書活動を推進し、児童・生徒の健全な育成と自立を支援します。

安心して子どもを産み育てる家庭を支援するために、子育てに関する資料・情報の提供を行います。

注4：他の図書館、行政窓口、専門団体、専門家を紹介するサービス。

注5：中学生、高校生の年代

(5) 郷土の文化を大切にする図書館

『宮崎の“昔と今”を学ぶ』をテーマに、郷土に関する情報拠点として、宮崎県の文化を大切に保存・継承するとともに、新たな文化の創出に取り組みます。

過去及び現在の郷土資料を積極的に収集・発信して、個性と魅力ある地域づくりを支援します。

郷土に関わる貴重な文化遺産を保存・継承しながら資料情報を広く発信するなど、積極的な活用を図ります。

大学や民間の“人”の力を積極的に活用し、県民が郷土の文化に親しむ機会を提供することにより、文化を保存し育てる地域づくりや人づくりを支援します。

市町村立図書館（室）や行政機関・学校等とのネットワークを活かした郷土情報の収集・発信・提供を行います。

記紀編さん1300年記念事業の展開及び置県130年記念事業を実施し、県民の関心を高め理解を深めるため、関係情報を広く発信し情報提供に努めるとともに、本県の価値ある言語文化を次世代に語り継ぐ活動を推進します。

(6) 成長・発展する図書館

時代や社会の変化に対応して、迅速かつ的確な情報提供を行うため、利用者のニーズに配慮した図書館サービスを提供するとともに、県民とともに成長・発展する図書館をめざします。

県民の図書館への需要等に関する事項を的確に把握し、県民の意思を図書館運営に反映するよう努めます。

図書館サービスの向上をめざし、職員のスキルアップのための研修や他館の先進事例の積極的な情報収集を行います。

常に図書館サービスの検証と見直しを行うとともに、効率的で時代に対応した業務体制の充実と機能の強化を図ります。

ネットワーク環境下における個人情報保護と情報セキュリティ対策の充実に努めます。

3 平成25年度重点推進事項

生涯学習・読書活動推進などの多様な学習機会の提供

県民の生涯学習としての自主的な学習を支援するため、多様な資料の整備に努めるほか、関係機関と連携して健康や環境等に関する情報の提供を行ったり、文化講座など各世代のニーズに沿った各種講座や展示を実施します。

また、子どもの読書活動を推進する活動や講座の実施に努めるなど多様な学習機会を積極的に提供します。

県民や地域の課題解決支援の強化

県民や地域の課題解決を積極的に支援するため、図書館の持つ機能と資源を有効に活用し、県行政機関等へのレファレンスサービスや県政の重点施策情報発信事業等の政策支援を行うほか、大学や民間企業を含む関係機関と連携し、新たな情報を活用したビジネス支援サービスなどの社会人のための支援を行います。

また、就労支援や子育て支援、介護など社会情勢の変化に伴う喫緊の課題を踏まえ、関係機関と連携しながら、その解決に役立つ資料の充実・活用を図ります。

市町村立図書館（室）及び学校等との連携・支援の強化

県立図書館と市町村立図書館（室）相互の連携を強化するとともに、市町村立図書館（室）の図書館サービスの向上を図るために、市町村立図書館（室）が行う読み聞かせ団体の育成や、市町村立図書館（室）の職員研修を積極的に支援します。

また、移動図書館車「やまびこ」のへき地学校支援や特別支援学校の巡回による学校支援に努めるとともに学校図書館への支援にも取り組みます。

郷土に関する情報の収集・提供・活用の強化

『宮崎の“昔と今”を学ぶ』をテーマとして、市町村立図書館等と役割分担をしながら、郷土資料の積極的な収集・整理・保存に努めます。

また、平成24年度からの記紀編さん1300年記念事業の展開に努めるほか、本年が置県130年にあたり、その記念事業を実施します。

さらに、関係機関と連携した郷土情報の発信事業、貴重資料等のデジタルアーカイブの充実などを通じて、地域の情報拠点としての役割を強化します。

4 組織

(1) 職員の現員調

区分	館長	副館長	課長	主幹	副主任	主査	主任主事	主事	社会教育主事
現員 25名	1	1	2	5	1	12	0	1	2

(2) 組織及び分掌事務

<p>名誉館長 伊藤 一彦</p> <p>館長 坂本 義広</p> <p>副館長 野邊 文博</p>	<p>総務・企画課 抜屋 博基</p>	<p>総務担当 上田 ひとみ 富田 智子 井上 和哉 非常勤技能労務員 1名 22条職員 1名</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・連絡調整、図書館協議会 ・予算編成・執行、物品検査、歳入 ・施設維持管理、施設利用(研修ホール等)、公用車管理 ・庶務、臨時職員等業務管理、勤務関係の整理 ・調査統計(一般)、館内行事予定(日々行事等)
		<p>企画担当 家弓 文孝 村社 由啓 内田 朋代</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・施策・事業の総合的調整 ・図書館広報、評価 ・図書館情報システム、ホームページ、情報セキュリティ等の運営管理 ・運動事業、利用講座、相談事業、環境情報センターとの連携 ・職員研修、図書館学習(体験実習等) ・施設利用(ギャラリー等)
		<p>普及支援担当 石倉 義紀 黒木 朋代 曾我部 美佳 金澤 由紀子 22条職員 1名</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・市町村立図書館(室)及び学校図書館等連携・支援 ・公共図書館連絡協議会、公共図書館等調査統計 ・移動図書館車(やまびこ)、BM書庫管理・活用 ・市町村貸出(マイライン制度)運営管理 ・視聴覚事業 ・AVコーナーの管理、施設利用(読書振興室) ・読書活動推進事業、読書団体振興
	<p>情報提供課 上谷 政隆</p>	<p>情報総括担当 清水 勝三 中島 由光 山下 久見子 非常勤奉仕相談員 2名 22条職員 1名</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・資料の総合管理(収集・保存・活用・除籍・製本) ・資料の収集方針、管理計画 ・購入・逐次刊行物・寄贈資料の選定・受入 ・資料費・装備用消耗品の管理 ・資料推薦委員、特別整理期間
		<p>郷土情報担当 籾木 郁朗 安藤 正純 非常勤郷土資料調査員 2名 22条職員 1名</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・郷土資料の収集・保存・活用・データベース化 ・郷土情報の参考相談 ・特別展示室、貴重書庫、地方史研究室運営管理 ・地方史連絡協議会 ・文化講座・古文書解読講座、展示会
		<p>情報提供担当 中馬 一房 日高 聖子 川野 香 作元 礼子 原田 佳奈子 甲斐 夕貴子 非常勤奉仕相談員 10名 22条職員 1名</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・閲覧室・児童図書室の運営管理 ・レファレンスサービス、相互貸借 ・健康情報、学校支援、行政資料、法律情報 ・ビジネス支援、市町村・庁内レファレンス ・書庫・児童文化研究室、わかばコーナーの運営 ・複写サービス、各種講座、見学等利用者支援 ・資料の返却督促、弁償、リクエスト、予約 ・利用データの統計・管理

5 当初予算

(歳入)

科 目		説 明
財産収入	2,436 千円	
財産運用収入	2,436	
財産貸付収入	2,436	
公募型財産貸付料	2,436	
諸 収 入	795 千円	
雑 入	795	
雑 入	795	
雑 入	795	マイクロ複写 50円 × 3,000枚 = 150,000円 電子複写 50円 × 1,500枚 = 75,000円 10円 × 57,000枚 = 570,000円

(歳出)

事業名	予算額 千円	事 項 名	千円	説 明
図書館費	74,564	1 管理運営費	74,304	庁舎の維持管理に要する経費
		2 図書館協議会	260	図書館協議会の運営に要する経費 (委員10人・年2回)
奉仕活動推進費	99,296	1 資料整備費	42,100	図書約13,500冊、新聞30紙、雑誌350種等の購入及び視聴覚資料(DVD、ビデオソフト等)の購入に要する経費
		2 館内奉仕活動費	48,729	資料の提供、参考相談事務及びコンピュータ運用に要する経費
		3 文化活動推進費	638	文化講座(年4回)、古文書解読講座(年7回)開催に要する経費
		4 読書普及推進費	2,309	移動図書館に関する事業(市町村支援及び学校支援、県内18コース)、団体文庫の育成、読書普及活動の推進に要する経費
		5 AV活動推進費	1,452	AV機器及びAV資料の管理、映写会、コンサート、AV資料貸出等に要する経費
		6 図書館ネットワーク推進事業	815	図書館ネットワーク推進に要する経費
		7 インターネットホームページ事業	337	インターネットホームページによる資料提供に要する経費
		8 みどりの図書館づくり推進事業	1,249	自然や環境に関し、特色ある図書館づくり推進に要する経費
		9 図書館情報システムセキュリティ強化対策事業	742	外部からの不正侵入等に対する情報セキュリティ対策及び館内の危機管理対策に要する経費
		10 次世代につなぐ「みやざきの言の葉」継承事業	925	宮崎の神話・伝承などを継承していくための、講演会、語り部養成講座、子どものための言の葉講座など
郷土資料調査研究事業推進費	8,203	1 史料刊行費	4,416	史料・研究紀要の刊行に要する経費
		2 貴重資料の修復・保存	2,120	貴重資料の修復・保存に要する経費
		3 置県130年記念歴史資料整理活用事業	1,667	古典籍を中心とした歴史資料の目録・データの作成、HP上のデジタルアーカイブスへの電子データの登録などに要する経費
合 計	182,063			

【 第 2 部 】



みどりの図書館フェスタ

読書の普及と出版文化の向上と発展のため、毎年、文化の日を中心に10月27日（文字・活字文化の日）から11月9日の期間が「秋の読書週間」とされています。

この期間中に、読書の大切さを広く県民に普及・啓発し、県民文化の向上を図るため、紙芝居、本の読み聞かせ、一日司書体験、しおりづくりなどを内容とする「みどりの図書館フェスタ」を毎年度実施しています。

1 資料概要

図書館資料の整備にあたっては、宮崎県立図書館資料収集方針に基づき、各分野の専門の方々の意見も参考にしながら、県立図書館としての資料充実に努めている。

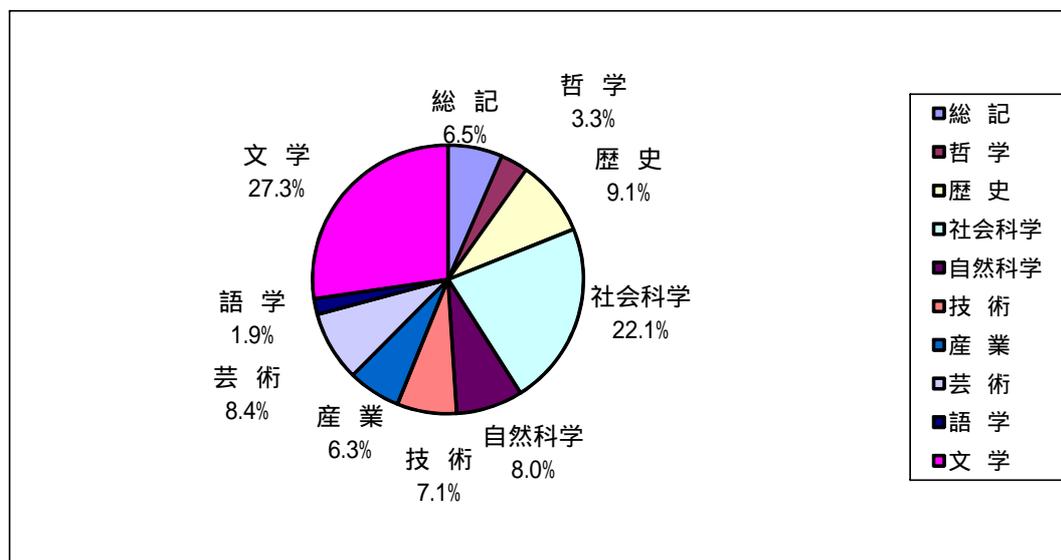
特に、市町村図書館等との役割を踏まえた収集、学校教育援助のための収集、郷土資料の充実、子どもの読書活動推進のための収集、自然や環境及び本県の産業に関する特色ある図書館づくりのための収集、地域や社会人支援のための収集に重点的に取り組んでいる。

そのような中で、これらの蔵書の中には置県100年を記念して寄贈された「杉田文庫」の医書、古刊本や江戸後期の城ヶ先俳壇の俳諧資料など約12,000点も含まれており、また貴重書庫には「佐土原藩嶋津家日記」や「嶠南文庫」などの古文書約2,000点も保存している。

(1) 配架別・分類別資料数(平成25年3月31日現在)

単位(冊・点)

区分	閲覧室	児童図書室	書庫	B M書庫	視聴覚資料	その他	合計	割合(%)
0 総記	10,509	819	32,854	829	370	335	45,716	6.5
1 哲学	4,691	195	17,371	779	110	51	23,197	3.3
2 歴史	12,671	1,379	47,336	1,808	904	291	64,389	9.1
3 社会科学	23,543	2,215	122,996	4,344	2,175	306	155,579	22.1
4 自然科学	12,694	3,499	34,802	4,180	1,091	7	56,273	8.0
5 技術	11,662	1,392	32,977	3,290	753	18	50,092	7.1
6 産業	10,872	781	30,697	1,250	515	9	44,124	6.3
7 芸術	9,937	2,732	35,280	4,014	7,308	18	59,289	8.4
8 語学	3,010	511	8,812	796	155	52	13,336	1.9
9 文学	24,240	15,908	120,864	30,910	284	47	192,253	27.3
計	123,829	29,431	483,989	52,200	13,665	1,134	704,248	100.0



(2) 資料購入の推移

単位(購入数:冊、金額:千円)

区分	20		21		22		23		24	
	購入数	金額								
図書	11,530	39,158	10,889	38,224	9,370	36,961	12,616	40,006	10,768	36,284
逐次刊行物	4,575	7,853	4,584	6,874	4,479	6,704	4,591	6,589	4,447	6,230
A V 資料	200	1,792	85	1,403	49	745	137	2,296	146	1,195
計	16,305	48,803	15,558	46,501	13,898	44,410	17,344	48,891	15,361	43,709

22・23年度図書購入費には国の交付金を一部含む。

(3) 資料整備状況(平成24年度)

資料受入

単位(冊)

区分	資料数	備考
図書(A)	14,851	
逐次刊行物(B)	5,814	新聞 43種
		雑誌 493種
A V 資料(C)	300	
合計(A+B+C)	20,965	

資料受入区分別・分類別資料数

単位(冊)

区分	購入	寄贈	編入	所管換	数量更正	生産	弁償	寄託	その他	合計
0 総記	1,133	433	30		63	3	3		5	1,670
1 哲学	315	66				23	7			411
2 歴史	980	497			3	8	7		1	1,496
3 社会科学	3,152	1,851	12		46	65	21		10	5,157
4 自然科学	1,402	334					20		7	1,763
5 技術	1,576	341					18		10	1,945
6 産業	1,160	618					11		4	1,793
7 芸術	1,533	289					13		4	1,839
8 語学	238	13					2		8	261
9 文学	3,872	679	13				62		4	4,630
計	15,361	5,121	55		112	99	164		53	20,965

(4) 保存資料(マイクロフィルム)の所蔵状況(平成25年3月31日現在)

単位(点)

種別	巻数	種別	巻数
内藤家文書	1,680	その他の古文書	448
佐土原嶋津家日記	222	宮崎日日新聞	897
佐土原嶋津家日記江戸日記	143	宮崎新報 他	305
島津文書	50		
出北方村文書	120		
矢津田家文書	74	合計	3,939

2 事業実績

(1) 館内利用事業

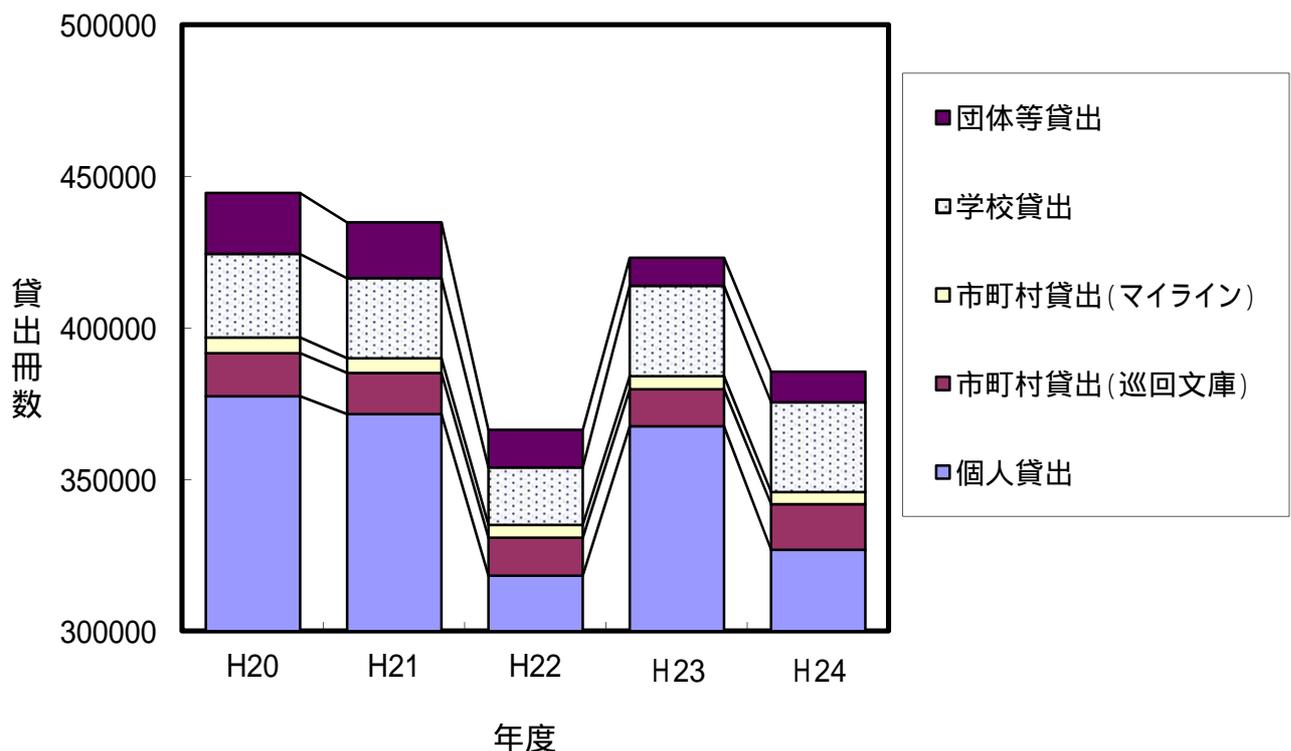
貸出利用総括

区 分		年 度				
		2 0	2 1	2 2	2 3	2 4
開 館 日 数 (日)		301	301	270	302	289
入 館 者 数 (人)		564,151	566,626	491,686	533,907	506,521
(1 開 館 日 あ た り)		1,874	1,882	1,821	1,768	1,753
登 録 者 数 (人)		7,799	7,506	9,121	9,109	8,263
累 計 登 録 者		198,679	206,185	215,306	244,415	232,678
(1 開 館 日 あ た り)		26	25	34	30	29
貸 出 冊 数 (冊)	個 人 貸 出	377,470	371,591	318,266	367,537	326,835
	(1 開 館 日 あ た り)	1,254	1,235	1,179	1,217	1,131
	市 町 村 貸 出 (巡 回 文 庫)	14,164	13,601	12,522	12,215	15,061
	市 町 村 貸 出 (マ イ ラ イ ン)	5,236	4,818	4,235	4,326	3,973
	学 校 貸 出	27,563	26,446	18,953	29,793	29,576
	団 体 貸 出	20,137	18,366	12,377	7,557	7,682
	児 童 教 育 施 設 貸 出				1,737	2,446
	視 聴 覚 資 料 団 体 貸 出	242	346	263	269	168
	合 計	444,570	434,822	366,353	423,165	385,573

貸出冊数合計には、視聴覚資料団体貸出は含まない。

平成22年度における開館日数の減については、口蹄疫拡大防止のため、平成22年6月12日～平成22年7月26日の間、休館したことによる。

平成24年度における開館日数の減については、書庫の空調・電気設備改修工事に伴い平成24年5月21日～平成24年6月11日の間、休館したことによる。



② 貸出利用地区別内訳

単位（冊）

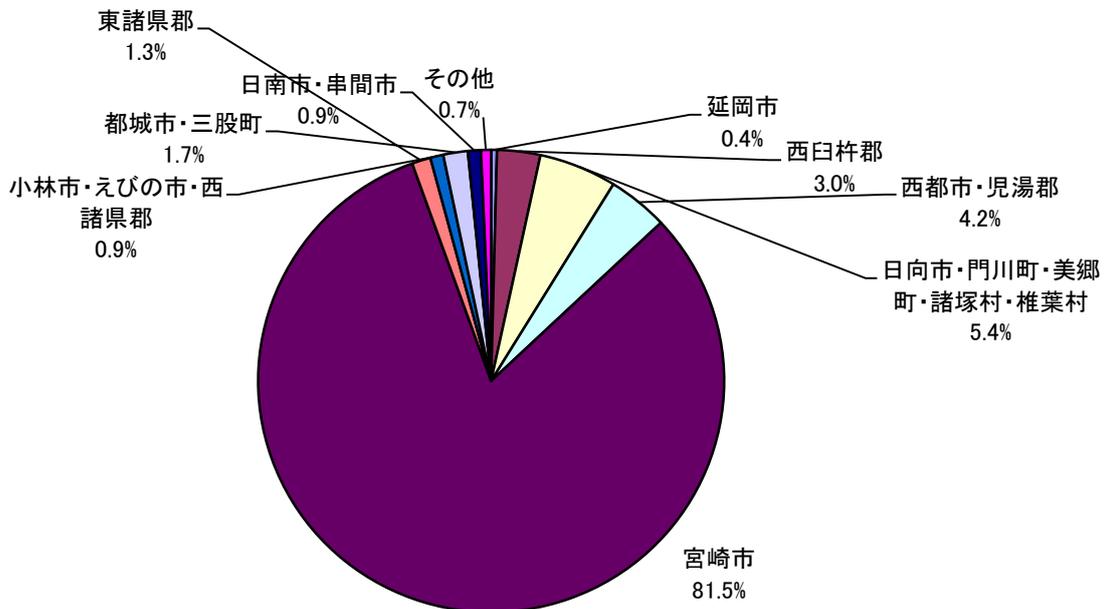
区 分	本館資料	巡回文庫	マイライン	団体等貸出	貸出合計
延岡市	678 0.2%	659 1.5%	317 8.0%	-	1,654 0.4%
西臼杵郡	66 0.0%	11,422 25.6%	26 0.7%	-	11,514 3.0%
日向市・門川町・美郷町 諸塚村・椎葉村	1,082 0.3%	18,926 42.4%	842 21.2%	-	20,850 5.4%
西都市・児湯郡	10,114 3.1%	4,488 10.1%	889 22.4%	636 6.3%	16,127 4.2%
宮崎市	301,365 92.2%	3,526 7.9%	308 7.8%	8,991 88.8%	314,190 81.5%
東諸県郡	4,688 1.4%	0 -	165 4.2%	-	4,853 1.3%
小林市・えびの市・西 諸県郡	1,840 0.6%	1,369 3.1%	415 10.4%	-	3,624 0.9%
都城市・三股町	2,079 0.6%	3,603 8.1%	428 10.8%	501 4.9%	6,611 1.7%
日南市・串間市	2,133 0.7%	644 1.4%	583 14.7%	-	3,360 0.9%
そ の 他	2,790 0.9%	0 -	0 -	0 -	2,790 0.7%
合 計	326,835	44,637	3,973	10,128	385,573

※ 巡回文庫には、学校貸出を含む。

※ 団体等貸出には、児童教育施設貸出を含む。

※ 視聴覚資料団体貸出は含まない。

貸出合計にみる地区の比率（平成24年度）

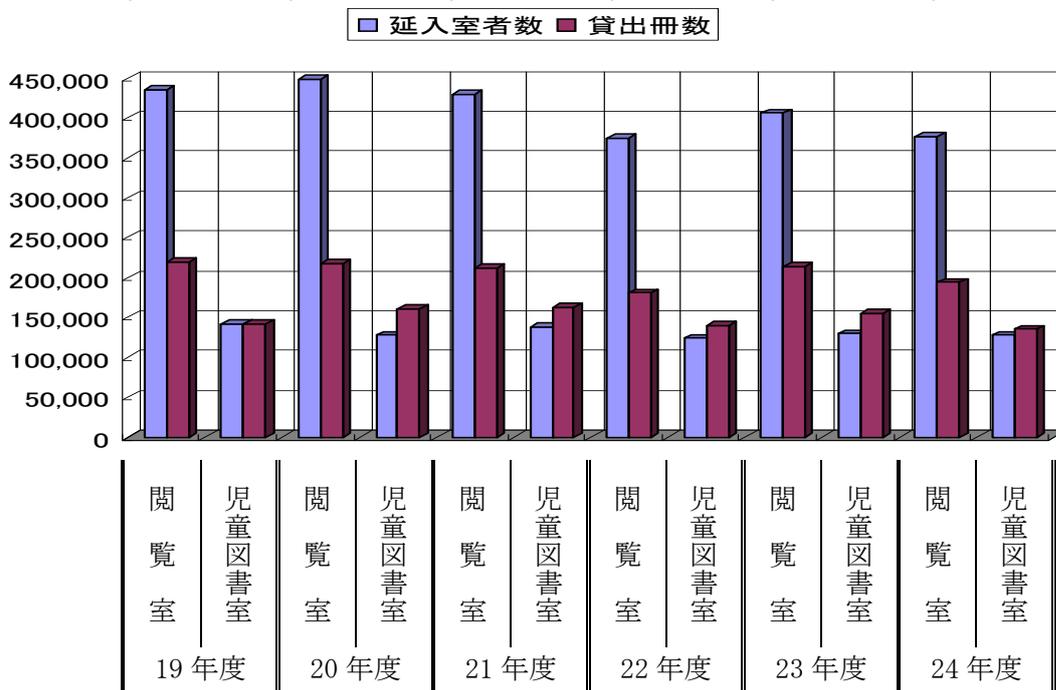


③ 館内利用状況

単位 (人・冊)

年度 区分	19		20		21		22		23		24	
	延入室者数	貸出冊数										
閲覧室	433,625	217,928	447,426	217,415	428,323	210,732	374,226	179,508	405,465	213,081	375,083	193,187
児童図書室	141,676	141,226	126,419	160,055	138,261	160,859	123,101	138,758	128,547	154,456	125,536	133,648
計	575,301	359,154	573,845	377,470	566,584	371,591	497,327	318,266	534,012	367,537	500,619	326,835
一 日 均	1,950	1,217	1,906	1,254	1,882	1,235	1,841	1,178	1,768	1,217	1,732	1,131

館内の利用状況



④ 入館者数, 登録者数, 貸出冊数(平成 24.4.1~平成 25.3.31 開館日数 289 日)

単位 (人・冊)

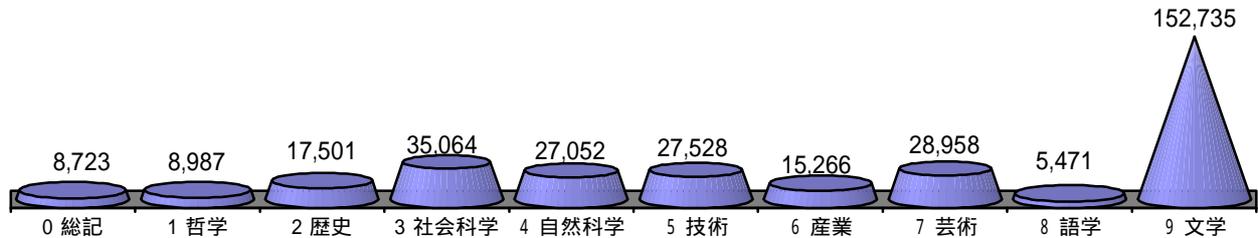
区分	入館者	登録者	貸出冊数	平均入館者	平均登録者	平均貸出冊数
利用者	0歳～6歳		656	29,621	2	102
	7歳～12歳		840	46,287	3	160
	13歳～15歳		281	5,775	1	20
	16歳～18歳		314	3,946	1	14
	19歳～22歳		478	7,444	2	26
	23歳～		5,694	233,762	20	809
計	506,521	8,263	326,835	1,753	29	1,131
累計 (昭和63年度以降)	14,310,470	232,678	10,009,243			

分類別図書貸出冊数(平成 24.4.1 ~ 平成 25.3.31 開館日数 289 日)

単位 (冊)

分類別	閲覧室	児童図書室	計	1日平均	分類別	閲覧室	児童図書室	計	1日平均
0 総記	6,964	1,309	8,273	29	6 産業	13,361	1,905	15,266	53
1 哲学	8,190	797	8,987	31	7 芸術	18,723	10,235	28,958	100
2 歴史	14,568	2,933	17,501	61	8 語学	3,902	1,569	5,471	19
3 社会科学	29,447	5,617	35,064	121	9 文学	57,889	94,846	152,735	528
4 自然科学	17,516	9,536	27,052	94					
5 技術	22,627	4,901	27,528	95	合計	193,187	133,648	326,835	1,131

分類別貸出冊数 (総数 326,835 冊)



AVコーナー資料の利用状況

ビデオソフト

単位 (本)

年度	19	20	21	22	23	24
区分						
利用本数	12,232	5,489	4,021	3,952	4,650	5,191
1日平均	41	19	13	15	15	18

読書振興室利用状況（読書団体の利用数）

単位（件・人）

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
件数	3	6	7	7	4	13	8	9	8	5	5	8	83
人数	28	61	87	63	31	145	106	97	66	32	37	116	869

情報相談（レファレンス）

利用者からの相談を受けて、蔵書資料を紹介したり情報を提供して調査・研究を支援するレファレンスサービスを行っている。

また、他館から蔵書を借用して利用に供する相互貸借サービスやコピーサービスなどを行っている。

レファレンス件数

単位（件）

区分	対面	電話	FAX	Eメール	文書	計
件数	6,826	935	45	117	8	7,931

相互貸借件数

単位（冊）

区分 年度	国立国会図書館借受	県内外図書館借受	県外図書館貸出	計
24	22	684	193	899
23	24	777	128	929
22	35	791	250	1,076

YA(ヤングアダルト)サービス

心身ともに大きく成長していく時期のヤングアダルト層（12～18歳ぐらい）に対して適切な資料と情報を提供し、読書活動の推進と図書館の利用促進を図るため、平成17年度より青少年わかばコーナーを設置している。平成20年度には書架を増設し資料の充実を図った。

(図書約4,000冊)

⑩ 児童サービス

ア 読み聞かせ

児童図書室では、子どもと本をつなぐため、絵本の読み聞かせや紙芝居、ストーリーテリングを行っている。

- ・ 図書館職員による読み聞かせ
毎週火曜日：午後2時～午後2時30分
- ・ ボランティア団体による読み聞かせ
毎週水曜日：午後3時～午後3時30分
毎週土曜日：午後3時～午後4時

〈読み聞かせ利用者数〉

単位（人）

曜日	内 訳		計
火曜日	子ども	241	463
	大人	222	
水曜日	子ども	274	500
	大人	226	
土曜日	子ども	850	1,404
	大人	554	
計	子ども	1,365	2,367
	大人	1,002	

イ 子育て支援

児童図書室内に、妊娠、出産、育児、しつけなど子育てに関する図書や雑誌等をまとめた「子育て支援コーナー」を設置し、子育てを支援している。（図書約340冊）

また、平成24年度より、毎月第一火曜日、読み聞かせに参加する保護者を対象に、子育てに関する悩みの共有、課題の解決、孤立化の防止のため、保護者同士のグループ相談や助産師による個別相談会（子育て相談おはなし会）を行っている。

- ・ 子育て相談おはなし会相談件数

延べ51件

⑪ ビジネス支援サービスの実績

図書館に創業やビジネスを支援する機能を持たせるため、閲覧室内にビジネス情報コーナーを設けて、会社年鑑、各種業界年鑑・名鑑等のビジネス関連図書、ビジネス関連雑誌、企業情報誌等を展示しているほか、毎週木曜日と毎月第三日曜日に宮崎県産業振興機構派遣のコーディネーターによるビジネス相談会を宮崎県立図書館を会場にして実施している。

また、宮崎県立図書館、宮崎県産業振興機構、宮崎県商工会議所連合会、日本政策金融公庫宮崎支店（国民生活事業）の四者で経営支援、創業支援等の分野に係る連携を円滑にし、地域の活性化と中小企業支援の促進を目的に平成22年4月1日に覚書を締結しており、四者連携してのセミナー、経営・金融相談会等を宮崎県立図書館を会場にして実施している。

〈ビジネス相談会の実績〉

- ・ ビジネス相談会相談受付件数

延べ55件

〈四者連携によるセミナー等の実績〉

回	期日	セミナー等の名称	参加者数(人)
1	平成24年 7月12日(木)	経営・金融相談会	8
2	平成24年10月12日(金)	中小企業経営セミナー	33
3	平成25年 3月 6日(水)	女性のための創業・経営セミナー	54
合 計			95

⑫ 健康情報サービス

心身の健康づくりに役立つ資料や情報の提供を行うため、健康情報コーナーを設置して、闘病記を中心とする図書等の展示、健康情報リンク集専用のパソコンの設置を行っている。

また、毎週土曜日に宮崎県看護協会の保健師等による健康相談会「まちの保健室」を実施している。

〈「まちの保健室」の相談者数〉

延べ615人

⑬ パソコン・データベースコーナーの利用状況

閲覧室内に調査・研究のためインターネットやオンラインデータベースが利用できるパソコン・データベースコーナーを設け、インターネット専用パソコン4台、データベース専用パソコン4台、無線LAN、有線LAN共用の持込用パソコン席14席を用意して、利用者に供している。

〈利用者数〉

- ・インターネット専用パソコン
- ・持込用パソコン席
- ・データベース席

延べ 5,015 人

延べ 4,718 人

延べ 36 人

⑭ 複写利用状況

単位(件・枚)

年度 区分	19	20	21	22	23	24
件数(件)	10,016	9,782	9,458	7,945	7,426	6,697
枚数(枚)	76,133	72,956	65,066	60,913	57,444	48,492

(2) 館外利用事業

巡回文庫

移動図書館車「やまびこ」での巡回配本を行う「市町村支援事業」、「学校支援事業」とBM書庫の貸出を行う「大量貸出支援事業」と「児童教育施設等支援事業」からなる巡回文庫を実施した。この事業によりやまびこは、51の学校や図書館(室)を3巡、3つの学校を2巡した。

市町村支援事業

市町村立図書館・図書室等の支援として移動図書館車により巡回配本を実施した。

平成24年度 配本冊数

単位(冊)

市町村名	図書館・図書室名	配本冊数	市町村名	図書館・図書室名	配本冊数
都 城 市	高崎たちばな学び館図書室	1,200	美 郷 町	美郷町立西郷図書館	1,500
高 原 町	高原町中央公民館図書室	572		美郷町立北郷図書館	1,497
新 富 町	新富町中央公民館図書室	594		美郷町立南郷図書館	861
西米良村	西米良村立図書室	1,146	高千穂町	高千穂町立図書館	1,501
諸 塚 村	諸塚村中央公民館	747	日之影町	日之影町民センター図書室	400
椎 葉 村	椎葉村民図書室	1,530	五ヶ瀬町	五ヶ瀬町教育委員会図書室	819
				合 計	12,367

大量貸出支援事業

BM書庫の大量貸出により市町村立図書館・図書室等を支援した。

平成24年度 貸出冊数

単位(冊)

市町村名	図書館・図書室名	貸出冊数	市町村名	図書館・図書室名	貸出冊数
宮 崎 市	清武町文化会館図書室	600	西米良村	西米良村立図書室	470
	高岡地区農村環境改善センター図書室	205	美 郷 町	美郷町立西郷図書館	514
都 農 町	都農町民図書館	805		美郷町立南郷図書館	100
				合 計	2,694

分類別利用状況(市町村・大量貸出支援)

区分	総記	哲学	歴史	社会科学	自然科学	技術	産業	芸術	語学	文学	計
冊数(冊)	251	270	368	1,236	1,097	1,475	310	919	188	8,947	15,061
割合(%)	1.7	1.8	2.4	8.2	7.3	9.8	2.1	6.1	1.2	59.4	100.0

学校支援事業

学校図書館の読書環境整備支援について、移動図書館車の巡回配本により実施した。

平成24年度 配本冊数

単位(冊)

市町村名	学校名	配本冊数	市町村名	学校名	配本冊数
宮崎市	明星視覚支援学校	422	椎葉村	小崎小学校	722
	みやざき中央支援学校	344		大河内小学校	805
	赤江まつばら支援学校	454		松尾小学校	853
	みなみのかぜ支援学校	591		椎葉中学校	703
	清武せいりゅう支援学校	910		松尾中学校	243
都城市	都城さくら聴覚支援学校	759	美郷町	北郷小学校	836
	都城きりしま支援学校	746		黒木小学校	665
	みやざき学園	898		北郷中学校	724
延岡市	延岡しろやま支援学校	659		美郷南学園	1,642
日南市	日南くろしお支援学校	644	高千穂町	田原小学校	901
小林市	都城きりしま支援学校小林校	797		岩戸小学校	893
日向市	日向ひまわり支援学校	711		岩戸中学校	479
新富町	児湯るびなす支援学校	681		田原中学校	905
西米良村	村所小学校	706		延岡しろやま支援学校高千穂校	250
	西米良中学校	86	五ヶ瀬町	鞍岡小学校	900
諸塚村	諸塚小学校	880		三ヶ所小学校	836
	荒谷小学校	461		坂本小学校	683
	七ツ山小学校	794		上組小学校	660
	椎葉村	椎葉小学校		772	鞍岡中学校
尾向小学校		896	三ヶ所中学校	792	
不土野小学校		430	五ヶ瀬中等教育学校	616	
合 計					29,378

学校支援「セット文庫」

学校の読書活動や調べ学習活動支援と読書環境充実のため図書資料セットの貸出を実施した。

- ・平成24年度実績 五ヶ瀬町立三ヶ所小学校 貸出 158冊
- 美郷町立北郷小学校 貸出 40冊
- 合計 198冊

分類別利用状況(学校支援・セット文庫)

区分	総記	哲学	歴史	社会科学	自然科学	技術	産業	芸術	語学	文学	計
冊数(冊)	314	487	958	2,089	2,296	1,837	517	2,029	482	18,567	29,576
割合(%)	1.1	1.6	3.2	7.1	7.8	6.2	1.7	6.9	1.6	62.8	100.0

親子の絆を深める子育て読書推進支援事業

事業目的

移動図書館車「やまびこ」を利用して、当該地区の子育て支援センター等と連携し、利用者の乳幼児やその保護者に対して、本の貸出や読み聞かせ会、読書推進のための講座をすることによって、読書活動の推進及び読書環境の整備を図るとともに、子育てに関する講座等を実施し、参加者の子育てを支援し、参加者相互の交流の場を設ける。

事業概要

図書資料貸出

- ・ 読み聞かせ用の図書（絵本）や子育て支援に関する図書（育児書）などの図書資料の貸出を行う。

読み聞かせ会および講座の実施

- ・ 町村の子育て支援センター等において、読み聞かせ会や読書活動推進のための講座を実施する。（講座は担当職員が行う。）
- ・ 子育てに関する講座を実施し、子育てにまつわる不安や悩みなどを共有したり、情報交換をするなど、参加者相互の交流を図る。

情報の発信

- ・ 本館で作成した読み聞かせリーフレット、「読み継がれてきた絵本」（パンフレット）、図書館の利用方法（マイラインシステム等）の説明パンフレット等の配付及び子育て支援に関する情報の発信を行う。

訪問施設及び貸出状況

訪問施設	訪問回数	訪問者のべ数	貸出冊数
新富町（あんのん舎）	5	82	164
新富町（八幡子育て支援センター）	5	114	305
高鍋町（石井記念にっしん保育園子育て支援センター）	3	96	115
川南町（川南町子育て支援センター）	5	108	183
門川町（門川町子育て支援センター）	4	77	112
椎葉村（不土野へき地保育所）	1	16	41
椎葉村（向山児童館）	2	76	176
椎葉村（松尾児童館）	3	82	135
高千穂町（高千穂町子育て支援センター）	4	135	239
五ヶ瀬町（五ヶ瀬町子育て支援センター）	3	56	130
合 計	35回	842人	1,600冊

団体文庫

平成25年度 団体文庫登録団体一覧(平成25年4月1日現在)

団 体 名	市町村名	登録種別	登録年月	団 体 名	市町村名	登録種別	登録年月
1 赤 ず き ん	新 富 町	読み聞かせボランティア	平21.4	15 どんぐり1000年の森をつくる会	都 城 市	私設文庫	平22.11
2 あ じ さ い 読 書 会	宮 崎 市	研究団体【小説】 読み聞かせボランティア	昭54.7	16 西池小学校支援ボランティア「お話し部屋」	宮 崎 市	読み聞かせボランティア	平13.10
3 ア ラ ラ ギ 宮 崎 歌 会	宮 崎 市	研究団体【俳句】	平13.6	17 の ん び り 文 庫	宮 崎 市	私設文庫 研究団体 読み聞かせ	平元.10
4 生 目 台 文 庫	宮 崎 市	私設文庫 読み聞かせボランティア	平2.4	18 ピーターラビットおはなしクラブ	宮 崎 市	読み聞かせボランティア	平18.11
5 え ほ ん と い っ し ょ	宮 崎 市	私設文庫 読み聞かせボランティア	平15.1	19 び る う じ ゅ	宮 崎 市	研究団体【短歌】	平元.11
6 大宮小読み聞かせサークル ひまわり	宮 崎 市	読み聞かせボランティア	平23.4	20 ぼ け っ と く ら ぶ	宮 崎 市	私設文庫 研究団体 読み聞かせ 研修団体	平2.10
7 お は な し こ ろ り ん	高 鍋 町	読み聞かせボランティア	平15.7	21 魔 法 の と び ら	宮 崎 市	読み聞かせボランティア	平13.12
8 清 武 み ど り 幼 稚 園 お は な し の 部 屋	宮 崎 市	読み聞かせボランティア	平20.10	22 み な み か ぜ	宮 崎 市	読み聞かせボランティア	平12.4
9 く れ よ ん	宮 崎 市	読み聞かせボランティア	平19.6	23 宮崎至慶幼稚園絵本の会	宮 崎 市	読み聞かせボランティア	平17.10
10 コ ス モ ス 読 書 会	宮 崎 市	研究団体【古典文学】	昭57.7	24 宮 崎 カ ト リ ッ ク O G	宮 崎 市	私設文庫 読み聞かせ	平13.12
11 サンシャインフレンズ	宮 崎 市	読み聞かせボランティア	平4.11	25 も の い う た ま ご	宮 崎 市	読み聞かせボランティア	平2.3
12 七野小学校ひまわりの会	宮 崎 市	読み聞かせボランティア	平17.8	26 (財)野村生涯教育センター	宮 崎 市	研修団体	平10.8
13 ツ パ ナ 文 庫	宮 崎 市	私設文庫 読み聞かせボランティア	平2.4	27 レ フ ァ レ ン ス 研 究 会	宮 崎 市	研究団体 研修団体	平23.5
14 ど ん ぐ り 絵 本 隊	宮 崎 市	読み聞かせボランティア	平23.4	28 宮 崎 語 り 手 の 会 (おはなしさんぼ道)	宮 崎 市	読み聞かせボランティア	平23.10

児童教育施設等

平成25年度 児童教育施設等一覧(平成25年4月1日現在)

団 体 名	市町村名	登録種別	登録年月	団 体 名	市町村名	登録種別	登録年月
1 社会福祉法人 南方保育園	宮 崎 市	教育施設	平12.4	4 瓜 生 野 児 童 ク ラ ブ	宮 崎 市	教育施設	平20.7
2 宮崎中央福祉こどもセンター	宮 崎 市	教育施設	平21.6	5 檉 北 児 童 ク ラ ブ	宮 崎 市	教育施設	平24.4
3 大 宮 児 童 ク ラ ブ	宮 崎 市	教育施設	平22.9				

(3) 図書館ネットワーク事業

マイラインシステムによる県立図書館資料の市町村への貸出実績

単位(冊)

	施設名	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度
1	宮崎市立図書館					
2	宮崎市立佐土原図書館	199	221	181	202	214
3	都城市立図書館	242	166	170	164	148
4	都城市立高城図書館		46	10	53	30
5	延岡市立図書館	292	293	266	426	297
6	延岡市立図書館北方分館	29	24	14	35	20
7	延岡市立図書館北浦分館					
8	延岡市立図書館北川分館					
9	日南市立図書館	574	842	661	749	425
10	日南市立まなびピア図書館					
11	日南市立北郷図書館	81				
12	日南市立南郷図書館	87				
13	小林市立図書館	47	166	214	194	215
14	小林市立図書館野尻分館		7			
15	小林市立図書館須木分館					
16	日向市立図書館	439	465	378	375	365
17	串間市立図書館	276	282	242	138	158
18	西都市立図書館	70	60	53	50	66
19	えびの市民図書館	139	114	87	131	89
20	三股町立図書館	225	259	210	208	242
21	国富町立図書館	10	4		5	2
22	綾てるは図書館	253	209	152	174	163
23	町立高鍋図書館	337	292	126	173	175
24	川南町立図書館	78	82	70	82	72
25	都農町民図書館	519	233	212	207	164
26	門川町立図書館	75	108	101	43	46
27	美郷町立西郷図書館	270	112	179	187	159
28	美郷町立北郷図書館	49	43	25	41	148
29	美郷町立南郷図書館					78
30	高千穂町立図書館	20	48	66	19	25
31	清武町文化会館図書室(宮崎市)	391	182	236	72	94
32	宮崎市田野公民館図書室	3				
33	宮崎市高岡地区農村環境改善センター図書室	16	77			
34	都城市山之口地区公民館図書室		5		1	
35	都城市山田総合センター図書室		3			
36	都城市高崎たちばな学び館図書室	96	55	18	7	8
37	高原町中央公民館図書室	208	128	248	208	111
38	新富町中央公民館図書室	66	105	57	58	156
39	西米良村立図書室	15	158	70	76	60
40	木城町総合交流センターリバリス図書室	25	22	175	208	196
41	諸塚村中央公民館図書室	6	3	11	6	46
42	椎葉村民図書室				29	
43	日之影町民センター図書室					
44	五ヶ瀬町教育委員会図書室	99	4	3	5	1
	合計	5,236	4,818	4,235	4,326	3,973

日南市立まなびピア図書館・日南市立北郷図書館・南郷図書館は、本館(日南市立図書館)にて一括計上。

小林市立須木分館は、本館(小林市立図書館)に含まれる。

(4) 視聴覚事業

視聴覚資料等の登録団体等への貸出及び視聴覚資料等を利用した映写会・講座等を実施した。

視聴覚資料等貸出利用状況

単位(貸出本数:本、利用回数:回、利用者数:人)

月	視聴覚資料			機 器		
	貸出本数	利用回数	利用者数	貸出台数	利用回数	利用者数
4月	14	14	355	10	10	1,350
5月	11	20	1,487	2	2	40
6月	26	42	753	3	3	301
7月	16	16	721	9	9	246
8月	17	17	345	8	9	4,570
9月	0	0	0	4	4	164
10月	22	22	497	9	14	1,056
11月	13	14	637	9	10	2,418
12月	9	9	192	8	8	315
1月	12	12	325	2	2	600
2月	5	5	150	3	15	148
3月	23	23	355	20	32	2,532
合 計	168	194	5,817	87	118	13,740

視聴覚行事

映写会

県民の生涯学習と子どもたちの情操教育に役立てるため、大人向けと子ども向けの映写会を実施した。

図書館子ども映写会

回	期 日	上 映 作 品 名	参加者(人)
1	5月5日(土)	劇場版 ムーミン	31
2	6月17日(日)	おまえ うまそうだな	52
3	7月22日(日)	対馬丸 - さようなら沖縄 -	38
4	8月18日(土)	たまごにいちゃん カプトムシ・クワガタムシの秘密	55
5	9月15日(土)	かんからさんしん	12
6	10月14日(日)	大決戦! 超ウルトラ8兄弟	32
7	11月10日(土)	フランダースの犬	18
8	12月9日(日)	まめうしくん サンタさんは大いそがし	93
9	1月26日(土)	鉄腕アトム 14ひきのさむいふゆ	45
10	2月10日(日)	あらいぐまラスカル	27
合 計			403

図書館シアター

回	期 日	上 映 作 品 名	参加者(人)
1	5月18日(金)	殯の森(日本・フランス)	70
2	6月29日(金)	別れの曲 ショパン(ドイツ)	90
3	7月8日(日)	千の風になって(日本)	54
4	7月20日(金)	Clean(フランス・イギリス・カナダ)	43
5	8月10日(金)	映画 ハゲタカ(日本)	55
6	8月26日(日)	リトル・ブッダ(イギリス・フランス)	45
7	9月21日(金)	アイ・ラブ・ユー(日本)	52
8	10月19日(金)	アルジャーノンに花束を(フランス・スイス)	72
9	11月4日(日)	命捧げ候～夢追い坂の決闘～(日本)	33
10	11月16日(金)	ひまわり(イタリア)	96
11	12月2日(日)	ぼくのおばあちゃん(日本)	41
12	12月21日(金)	黄金狂時代(アメリカ)	48
13	1月18日(金)	命のビザ(日本)	101
14	2月3日(日)	冬のライオン(イギリス)	71
15	2月22日(金)	蒼天の夢 松陰と晋作・新世紀への挑戦(日本)	80
合 計			951

緑陰セミナー

子どものための自然環境に関する講座を通して、宮崎県の自然や文化についての理解を深めるとともに、生涯学習への関心・意欲を高めるため、講座を実施した。

回	期 日	内 容	参加者(人)
1	10月7日(日)	ネイチャーゲーム	19
合 計			19

緑陰コンサート

音楽に関する専門的な知識や技能を持つ外部講師等を招き、解説やトークなどを交えた楽器演奏会を実施した。

回	期 日	内 容	参加者(人)
1	5月3日(火)	宮崎市立大淀小学校吹奏楽部による演奏 NHK宮崎放送局アナウンサーによる朗読	約150
2	10月28日(日)	宮崎県立宮崎大宮高等学校吹奏楽部による演奏 UMKテレビ宮崎アナウンサーによる朗読	約150
3	12月16日(日)	ひむか SoundClub による演奏 宮崎大学吹奏楽部による演奏 アコースティックバンド GRATIAによる演奏 平野オールスターズ による演奏 アコースティックバンド アールグレイによる演奏	約70
合 計			約370

(5) 関係機関と連動した情報発信事業

① 県政の重点施策情報発信事業

『未来を築く新しい「ゆたかさ」への挑戦』を推進するためには、その主役である県民に県の施策や県民の課題等を分かりやすく周知し、理解を促すことが重要である。本事業は、県及び国等の関係機関と社会教育施設である県立図書館が、互いの資産（人・物・施設を有機的・複合的に統合させ連動して、企画展やセミナー、相談会などを開催するものであり、行政が一体となったより円滑な事業の推進を図るとともに、個人や地域の課題等の解決を積極的に支援し、「人づくりと地域づくり」に役立つことを目的として実施した。

〔事業〕 26 〔連動機関〕 52

NO	連動機関	期間	場所	内容
1	県河川課	6/26(火) ～7/8(日) 12日間	1階ギャラリー	「河川愛護月間」「海岸愛護月間」「全国なぎさシンポジウム in みやざき」合同企画展
	国土交通省九州地方整備局宮崎河川国道事務所			
	宮崎県環境情報センター			
	NPO法人大淀川流域ネットワーク			
2	県生活・協働・男女参画課	6/26(火) ～7/8(日) 12日間	1階ロビー	「男女共同参画週間」啓発パネル展 ～あなたがいる わたしがいる 未来がある～
	宮崎県男女共同参画センター			
3	県統計調査課	7/10(火) ～7/22(日) 12日間	1階ロビー	宮崎県統計グラフコンクール作品展
4	県国保・援護課	8/14(火) ～8/26(日) 12日間	1階ロビー	宮崎県平和祈念資料展
	宮崎県遺族連合会			
5	県自然環境課	8/28(火) ～9/9(日) 12日間	1階ギャラリー	愛鳥作品コンクール展 ～身近な森林(もり)の野鳥たち～
	日本野鳥の会宮崎県支部			
6	県障害福祉課就労支援・精神保健対策室	8/28(火) ～9/9(日) 12日間	1階ロビー	「自殺予防週間」特別企画展 ～心がつながる地域を目指して。今、私たちにできること～
	宮崎県精神保健福祉センター			
7	県長寿介護課	9/11(火) ～9/17(月) 7日間	1階ロビー	シニアパワー宮崎づくり月間展 ～創ろう シニアパワーで 新しいみやざき～
	宮崎県社会福祉協議会			
8	県教育庁生涯学習課	9/19(水) ～9/30(日) 12日間	1階ロビー	学びのきずな子ども教育支援事業
9	県中山間・地域政策課	9/19(水) ～9/30(日) 12日間	1階ロビー	「みやざきの中山間地域」パネル展 ～中山間地域をみんなで支える県民運動～
10	宮崎県租税教育推進中央協議会	11/6(火)～ 11/11(日) 6日間	1階ギャラリー	「税を考える週間」特別企画展 ～税に関する作品展～
	宮崎地区租税教育推進協議会			
	宮崎税務署			
11	県子ども家政課	11/6(火)～ 11/11(日) 6日間	1階ギャラリー	「家庭の日」「少年の日」ポスターコンクール作品展
	社団法人宮崎県青少年育成県民会議			
12	宮崎県SAP会議連合	11/6(火) ～11/11(日) 6日間	1階ロビー	「宮崎県SAP会議連合」企画展 ～農業をもっと身近に感じよう～
13	県港湾課	11/13(火) ～11/25(日) 12日間	1階ロビー	「みやざきの港」展
14	県人権同和対策課	11/27(火) ～12/7(金) 10日間	1階ギャラリー	「人権について考える」特別企画展
	県文化文教・国際課			
	県生活・協働・男女参画課			
	宮崎県男女共同参画センター			
	県警察本部警務部警務課犯罪被害者支援センター 公益社団法人みやざき被害者支援センター			

15	県商工政策課	11/27(火) ～12/7(金) 10日間	1階ロビー	「平成24年度宮崎中小企業大賞」パネル展
16	県労働政策課	12/11(火)～ 12/24(月) 13日間	1階ギャラリー	「仕事と家庭の両立支援」特別企画展 ～仕事と家庭 どちらも大事～
	宮崎労働局			
	宮崎公共職業安定所 (ハローワーク)			
	ハローワークプラザ宮崎マザーズサロン宮崎			
17	県生活・協働・男女参画課	12/11(火)～ 12/24(月) 13日間	1階ギャラリー	「女性の活躍応援します！」 ～今、女性の活躍が求められています～
	宮崎県男女共同参画センター			
18	県消費生活センター	12/11(火) ～12/24(月) 13日間	1階ロビー	「多重債務問題啓発パネル展」 ～こんなのアリ！？と思ったらあきらめないで、まず相談！～
19	宮崎県森林林業協会	1/8(火)～1 /20(日) 12日間	1階ギャラリー	「みやざき木づかい推進」特別企画展2012 ～木づかいパネル展&杉コレクション2012結果発表について～
	宮崎県木材青年会連合会			
	杉コレクション2012実行委員会			
	県木材協同組合連合会			
	県山村・木材振興課			
20	県環境森林課みやざきの森林づくり推進室	1/8(火)～1 /20(日) 12日間	1階ロビー	「みんなで守ろうみやざきの森林(もり)！」 ～森林の重要性について学ぼう～
	公益財団法人宮崎緑化推進機構			
	みやざきの森ミッション			
21	県生活・協働・男女参画課	1/22(火) ～2/3(日) 12日間	1階ロビー	「県民との協働」 ～宮崎県とコラボしよう！～
22	県生活・協働・男女参画課	2/5(火)～2 /11(月) 7日間	1階ギャラリー	「交通安全啓発ポスター等展示会」 ～てげてげ運転追放運動 ストップわき見・ぼんやり運転～
23	県障害福祉課	2/5(火)～2 /11(月) 7日間	1階ギャラリー	「人にやさしい福祉のまちづくり」企画展 ～みんなが住みやすいバリアフリーのまちづくり～
24	県警察本部	2/5(火) ～2/11(月) 7日間	1階ロビー	「情報セキュリティ月間」サイバー犯罪被害防止パネル展
25	県生活・協働・男女参画課	2/19(火) ～3/3(日) 12日間	1階ロビー	「安全で安心なまちづくりの普及啓発のためのパネル展」
26	県文化文教・国際課	3/5(火) ～3/17(日) 12日間	1階ギャラリー	みやざきの「ひと」企画展
計	52連動機関	273日間	1階ギャラリー 11事業 1階ロビー 15事業	26事業

主催事業

N0	課・担当	期 間	内 容
1	情報提供課 情報提供担当	4/24(火)～5/6(日)	第54回「こどもの読書週間」関連企画展
2	総務・企画課 企画担当	5/8(火)～5/20(日)	「みどりの特別企画展2012」
3	情報提供課 情報総括担当	6/12(火)～6/24(日)	口蹄疫からの復興企画展2012
4	総務・企画課 企画担当	7/10(火)～7/22(日)	6館イベント紹介展
5	総務・企画課 企画担当	7/24(火)～8/12(日)	夏休み特別企画展
6	総務・企画課 企画担当	8/14(火)～8/26(日)	「食」に関する企画展
7	総務・企画課 企画担当	9/19(火)～9/30(日)	「宮崎のスポーツを応援しよう」 企画展
8	総務・企画課 企画担当	10/2(火)～10/21(日)	古事記編さん1300年記念 パネル展
9	情報提供課 情報提供担当	10/23(火)～11/3(土)	秋の読書週間企画展
10	情報提供課 情報総括担当	11/13(火)～11/25(日)	みどりの図書館資料展
11	総務・企画課 企画担当	1/23(火)～2/3(日)	宮崎のものづくり展
12	総務・企画課 企画担当	2/5(火)～2/17(日)	鳥取県立図書館との交流展示
13	情報提供課 情報提供担当	2/19(火)～3/3(日)	アグリビジネス展
14	情報提供課 情報総括担当	3/3(日)	ワークショップ「この人の本棚を覗く・・・デザイナー編」 ゲストのデザイナー2名と参加者が一体となった読書についてのワークショップ

共催事業

N0	主催者	担 当	期 間	内 容
1	NHK 宮崎放送局	企画担当	4/10(火)～4/22(日)	ぼくの絵わたしの絵展
2	NHK 宮崎放送局	郷土情報担当	9/11(火)～9/17(月)	大河ドラマ「平清盛」 全国巡回展
3	福祉保健部	情報提供担当	10/16(火)～10/28(日)	「第60回精神保健福祉普及運動」企画展
4	福祉保健部	情報提供担当	3/5(火)～3/17(日)	自殺予防対策関連企画展

(6) 文化活動事業

① 第54回「こどもの読書週間」記念行事

「こどもの読書週間」は、子どもたちに良い本や良い雑誌に親しんで読書の楽しみや喜びを知ってもらい、また、大人には子どもにとって「読書の習慣」がいかに大切なことか、良い本とはどんなものかを考える機会を提供する。

県立図書館においても、子どもたちを良書に親しませ、体験等を通して読書へ誘うことをねらいに、次の行事を実施した。

期 間 平成24年4月24日（火）～ 5月6日（日） ※4月23日「子ども読書の日」

内 容

① 記念イベント「くらべてみよう！土地ことば」

講演：土地ことばを使った語りのおもしろさについて

実演：土地ことばを使った民話のかたり(おはなし会)

講師：田部 外美氏(ととろ三人の会 代表) ほかスタッフ

参加者：17人

② 特別企画展示

土地ことばを使った本や土地ことばを調べるための本などの紹介・展示

③ こども映写会(「劇場版ムーミン」)

参加者 31人

④ おはなし会(職員及びボランティアによる絵本の読み聞かせなど)

参加者 184人

⑤ 緑陰コンサート(こども向けの音楽会)

参加者 約150人

② 第66回「読書週間」関連事業 平成24年度「みどりの図書館フェスタ」

読書の普及と出版文化の向上と発展のため、昭和22年に(社)読書推進運動協議会により第1回「読書週間」が開催された。以後、毎年文化の日を中心に10月27日(文字・活字文化の日)から11月9日の期間を「秋の読書週間」として、日本の国民的行事として定着している。

この期間中に読書の大切さを広く県民に普及・啓発し県民文化の向上を図るため、「みどりの図書館フェスタ」を実施した。

期 日 平成24年11月3日(土)「文化の日」

内 容

- ・オープニング
- ・一日司書体験
- ・神話紙芝居
- ・オリジナルしおり作り
- ・狂言ミュージカル
- ・子ども神楽
- ・神話の語り
- ・クイズラリー
- ・読み聞かせ
- ・手品&バルーンアート
- ・スタンプラリー

参加者 約200人

特別展等

テーマを設定して、館蔵資料などを2階特別展示室で展示・公開し、貴重な資料を広く県民に公開した。さらに、県内の生涯学習施設や諸機関と連携して巡回展や共催展を行い、宮崎県の歴史や文化、人物などを取り上げて紹介し、県民文化の向上を図った。

<特別展>

「古代～中世の日向国」

期 間 平成24年7月3日(火)～8月5日(日)

内 容 「荘園の開発と終焉」という副題を設け、古代から中世にかけての本県域における荘園制を中心に、土地所有制度の変遷を時代ごとに分けて紹介した。あわせて、同時代の山岳信仰の歴史、日向路を旅した人々の記録から、様々な視点からとらえられた日向国の荘園制について紹介した。

「古事記と日向国」

期 間 平成24年10月10日(火)～11月18日(日)

内 容 平成24年が『古事記』編さん1300年にあたることから、『古事記』が編さんされた8世紀前後の古代日向国について紹介するとともに、『古事記』と日向神話についてわかりやすく解説した。また、「みやぎきの言の葉」の神話部分をパネル化し、広く紹介した。

<企画展>

「宮崎この人」

期 間 平成25年1月22日(火)～3月10日(日)

内 容 「宮崎この人」は、宮崎県出身か在住されている、原則80歳代以上で、政治・経済・教育・文化・医学等の分野で活躍された方や特徴的な戦争体験を持つ方々を対象とし、本人が生い立ちや人生の様々な経験を語る姿を映像に記録しようとする取り組みである。本館は平成22年度から「宮崎この人」制作プロジェクト(南邦和氏・森川紘忠氏企画)に協力してきた関係から、30作目の完成を記念して本企画を取り上げ、後世に記録を残すことの重要性について紹介した。

<巡回展・共催展>

巡回展「家族の肖像」

期間・会場 日向市立図書館(4/24～5/27)、日南市小村記念館(7/25～8/16)、えびの市歴史民俗資料館(9/22～10/6)、門川町総合文化センター(10/30～11/5)、都城島津邸(12/13～H25.1/10)

内 容 家族の絆をテーマにして平成23年度に本館で実施した企画展「家族の肖像」写真展を、県内5会場に巡回させて実施した。

共催展「遺跡発掘速報展2012」

期 間 平成24年8月1日(土)～8月26日(日)

内 容 宮崎県埋蔵文化財センターと共催で、平成23年度までに埋蔵文化財センターが実施した発掘調査の成果を紹介した。特別展示室では、出土遺物や解説パネルなどを展示し、調査の最終成果を報告する展示会となった。

郷土史料等学習活動

<宮崎県文化講座>

本県の継承すべき歴史や文化を紹介することで、地域の歴史や文化に関心と誇りを持ち、地域文化の向上を図るとともに、県民の生涯学習の支援となることを目的に、本館視聴覚室において文化講座を次のとおり実施した。

受講者計 231名

回	期 日	演 題	講 師	受講者
1	7月14日(土)	みやざきの俳句・その系譜と俳人たち・	宮崎県俳句協会会長 長友 巖氏	20
2	8月11日(土)	飫肥城下町遺跡・南九州の小京都を掘る！・	宮崎県埋蔵文化財センター 二宮満夫氏	24
3	9月1日(土)	地質と地震・火山災害リスク	日本地質学会会員 青山尚友氏	34
4	10月13日(土)	日向国と『古事記』・『日本書紀』	ラ・サール学園 永山修一氏	153

*4回目の文化講座は、宮崎県教職員互助会・iさいと主催、本館共催により、古事記編さん1300年記念講演会として、本館2階研修ホールにて実施

<古文書解読講座>

古文書解読を基礎・中級・上級の段階に分けて行い、古文書に対する興味・関心を高め、古文書を読める人材の育成を目的とした。平成24年度は、基礎3回、中級2回、上級2回、合計7回の講座を実施し、各段階の皆勤受講者には受講証を発行した。

基礎講座

受講者計 100名

回	期 日	講座内容	講 師	受講者数
1	5月17日(木)	くずし字の読み方からはじめて、「佐土原藩島津家日記」を読み進めた。	みやざき歴史文化館ボランティアの会 中元 暢一 氏	53
2	6月14日(木)			47

中級講座

受講者計 101名

回	期 日	講座内容	講 師	受講者数
1	7月7日(土)	「佐土原藩島津家日記」を読み、当時の時代背景を考察。	みやざき歴史文化館ボランティアの会 多田 武利 氏	40
2	8月16日(木)			30
3	9月20日(木)			31

上級講座

受講者計 32名

回	期 日	講座内容	講 師	受講者数
1	10月20日(土)	内藤家文書より「宮崎就御出駕萬覚書」を読み進めた。	宮崎公立大学 教授 大賀 郁夫 氏	17
2	11月17日(土)			15

*上級講座については、古文書が読めることを受講条件とし、事前申込み制として受講定員を20名に設定した。

子どものための言語文化講座

<子どものための「みやざきの言の葉」講座>

郷土に伝わる神話・伝承や民話、民謡、郷土の偉人が残した文学作品や言葉などの伝統的な言語文化についての朗読や歌、語りなどの読書活動を通して、郷土の伝統的な言語文化の継承や読書活動の普及を図り、子どもたちが読書に親しむ態度を育てることを目的として、言語文化講座を実施した。

回	期 日	講 座 内 容	講 師	受講者
1	7月25日(水)	みやざきの歌や言葉を学ぼう	椎葉綾心塾 塾長 綾部 正哉 氏	40 (16)
2	8月1日(水)	みやざきの文学を学ぼう	若山牧水記念館 館長 伊藤 一彦 氏	24 (13)
3	8月7日(火)	みやざきの民話を学ぼう	南九州大学 教授 矢口 裕康 氏 宮崎県語り部の会 赤澤 照野 氏 林 都子 氏	32 (11)
4	8月22日(水)	みやざきの神話・伝承を学ぼう	宮崎市神話・観光ガイド ボランティア協議会 会長 岡田 勝運 氏 原田 俊子 氏	57 (28)
合 計				153 受講者の()内の数は子どもの人数 (68)

対象は、小学校4年生以上・中学生、読書活動ボランティア、教職員などとし、親や祖父母など家族同伴の参加も可能とした。

(7) 郷土資料調査研究事業

県内各地域に散在する郷土に関する資料を収集するとともに、印刷物の刊行を行った。

①『宮崎県史料』

昭和49年度から継続している、現在県内唯一の史料刊行事業。古文書を活字化することにより、生涯学習や歴史解明の素材を提供し、県民の財産として将来の世代へ本県の歴史・文化を伝えることを目的として事業を行っている。

平成24年度は『佐土原藩嶋津家江戸日記（十四）』を刊行した。

②文化講座研究紀要

本館で実施した宮崎県文化講座の発表内容を論文として公表し、講座の内容と研究の成果を広く公開することにより、本県の文化向上と生涯学習の充実を図ることを目的として刊行している。

平成24年度は『宮崎県文化講座研究紀要 第39輯』を刊行した。

(8) ホームページ活用事業

県内全域をサービスエリアとする県立図書館として、県内均質のサービス向上を図るとともに、高度情報化社会に対応した図書館づくりを進めるため、図書館情報や資料情報、蔵書検索システム等を提供している。

- ・総合利用案内、行事の案内と紹介、郷土資料や宮崎の偉人紹介
- ・県立図書館蔵書検索及び県内公共図書館等の横断検索
- ・パスファインダー（調査の内容や目的に応じた資料・情報の紹介）
- ・Eメールによるレファレンス
- ・インターネットからの予約申し込み

〈パソコン用トップページアクセス件数の推移〉

単位（件）

年 度	18	19	20※	21※	22	23	24
件 数	164,101	155,403	135,593	97,608	114,549	128,534	102,916

※平成20年度のアクセス件数は、システム入れ替えのため、平成20年4月～平成21年1月末のみ

※平成21年度（システム入れ替え）以降は、プログラムの変更により計数方法が異なる。

〈主なページのアクセス件数〉（平成24年度）

単位（件）

主なページ	件 数
蔵 書 検 索	174,706
県内横断検索	107,291
ご 利 用 案 内	12,897

〈モバイル用トップページアクセス件数の推移〉 単位（件）

年 度	21	22	23	24
件 数	2,688	7,790	8,573	5,468

※ モバイル用ページは、システム入れ替えにより平成21年度から新たに開設した。

(9) 体験学習・施設見学

図書館の業務や役割を理解し、図書館の活用を推進することを目的に、施設見学等を積極的に受け入れている。また、図書館業務を体験することにより、仕事の意義や大切さを知るとともに将来の進路選択に役立つよう、体験学習を積極的に支援している。

〈図書館体験学習〉（施設見学を含む）

単位（団体・人）

種 別	団体数	延人数	備 考
幼稚園・保育所	5	186	
小 学 校	15	717	
中 学 校	10	459	体験学習 7校 19名
高 等 学 校	5	99	体験学習 4校 10名
特別支援学校	2	16	体験学習 1校 1名
大 学	2	5	司書実習 1校 4名 インターンシップ 1校 1名
一 般			
計	39	1,482	

(10) 「かば先生文庫」の創設

平成24年10月に亡くなられた宮崎市内の佐藤小児科医院 故佐藤雄一院長の御遺族から永年小児医療に力を注いできた院長の意思を継ぎ県内の子どもたちに役立てほしいとの趣旨で、10年間で約3,000冊の児童図書が寄贈申出があり、亡くなられた先生の愛称にちなんで「かば先生文庫」として創設し、児童図書室と移動図書館車「やまびこ」内に「かば先生」コーナーを設けた。

〈利用開始までの経緯〉

- ・平成24年12月11日 御遺族からの「絵本贈呈式」の開催 1階ロビー
- ・平成25年 2月14日 児童図書室内「かば先生」コーナー用書棚の増設
- ・平成25年 4月29日 子どもの読書週間内で「かば先生」コーナーの開設式の開催（利用開始） 1階ロビー
- ・「かば先生文庫」整備数（平成25年4月29日現在）
988冊（内訳 児童図書室398冊、BM書庫590冊）

3 各種協議会等

(1) 県立図書館協議会

図書館協議会は、図書館法（昭和25年法律第118号）第14条に基づき条例により設置（図書館運営に関し館長の諮問に応じ、図書館の行う図書館奉仕につき、館長に対して意見を述べる機関）

委員（任期 平成24年7月1日～平成26年6月30日）

区分	所属・職名	氏名	区分	所属・職名	氏名
学校教育関係者	県学校教育研究会図書館教育部会事務局長	木下 和子	家庭教育向上活動を行う者	宮崎県高等学校PTA連合会副会長	黒木 征代
"	宮崎市立内海小学校長	菊地 照代	"	読書ボランティア団体「宮崎子どもと本をつなぐネットワーク」事務局	愛甲かおり
社会教育関係者	高原町教育委員会教育長	江田 正和	学識経験者	財団法人宮崎県産業支援財団常務理事	中武 賢藏
"	宮崎大学産学・地域連携センター地域連携部門長准教授	山田 裕司	"	宮崎日日新聞社文化部長	中川 美香
"	宮崎県地域婦人連絡協議会幹事	浜砂 澄子	"	(公募委員) 福岡女子大学名誉教授	恒吉 良隆

所属・職名については、平成24年7月1日現在

前年度の開催状況

開催年月日	協議事項
平成24年10月10日	ア 県立図書館運営方針について イ 平成24年度事業概要及び計画・課題について ウ 利用者からの声について
平成25年3月15日	ア 平成24年度事業進捗状況について イ 平成25年度予定事業等について ウ 図書館政策フォーラムに見る公共図書館の役割等について

(2) 宮崎県公共図書館連絡協議会

宮崎県公共図書館連絡協議会は、県内の公共図書館及び公民館等図書室等の相互の連絡を密にし、図書館事業の進展を図る目的をもって昭和33年に発足。昭和48年には全市町村が加入し、県内の読書活動を推進する大きな組織として発展している。

役員名簿(平成25年度)

役名	職名	氏名	備考
会長	宮崎県立図書館長	坂本 義広	
副会長	えびの市民図書館長	津曲 加津子	
"	木城町総合交流センターリパリス図書室長	加藤 伸一	
監事	川南町立図書館長	橋本 正夫	
"	都農町民図書館長	小泉 隆宏	
顧問	宮崎県市長会長	戸敷 正	
"	宮崎県町村会長	椎葉 晃充	

平成24年度事業実績
<会議>

期日	会場	議題
平成24年 6月18日(月)	県立図書館	<p>総会</p> <ol style="list-style-type: none"> 平成23年度事業実績及び収支決算報告 平成24年度事業計画案及び収支予算案 平成24年度役員選出 協議事項 <ul style="list-style-type: none"> 雑誌の付録の取り扱いについて 図書館システム導入後の問題点について 表彰式 <p>研修会</p> <ol style="list-style-type: none"> 講演 「日向神話の概要とその意義」 講師 甲斐 亮典 氏(宮崎県文化財保護審議会会長) 事務連絡 <ol style="list-style-type: none"> 県立図書館各担当 <ul style="list-style-type: none"> 県立図書館利用の手引きの説明 宮崎県公共図書館等の所蔵する雑誌・新聞に関する取扱要項改正案の説明 環境情報センター <ul style="list-style-type: none"> 出前講座の紹介等
平成25年 3月4日(月)	県立図書館	<p>中心館会議</p> <ol style="list-style-type: none"> 平成24年度各支部の事業執行状況について 平成25年度に向けて

<研修・フォーラム>

期日	会場	内容
平成24年 7月30日(月)	県立図書館	<p>新任職員研修会(講師等はいずれも県立図書館職員)</p> <ul style="list-style-type: none"> 説明 「図書館ネットワークの活用法について」 講義 「資料の収集等について」 講義 「著作権について」 ワークショップ 「図書館サービスの現状・課題と展望について」

平成24年 11月19日(月)	県立図書館	職員研修会 ・講義 「国際子ども図書館のサービス紹介」 講師 藤代 亜紀 氏(国立国会図書館 国際子ども図書館 資料情報課主査 司書) ・講義・実習 「図書の修理について」 講師 井上 國光 氏(L・キスト 代表者)
平成25年 2月25日(月)	県立図書館	専門研修会 ・講義 「インターネットで使えるレファレンスツールについて (サーチを中心に)」 「法令・議会・官庁情報の調べ方」 講師 中島 寛 氏(国立国会図書館 サービス企画課 レファレンス係長 司書) ・意見交換会
平成24年 12月15日(土)	県立図書館	図書館政策フォーラム 「図書館はどう使えるか～明日の生きる力と図書館～」 ・基調講演 「生きる力を育む図書館」 講師 糸賀 雅児 氏(慶應義塾大学文学部教授) ・トークセッション 「生きる力を図書館で」 コーディネーター 糸賀 雅児 氏(同上) パネリスト 河野 俊嗣 氏(宮崎県知事) 工藤 智徳 氏(NPO法人国際ビフレンダーズ宮崎自殺防 止センター所長) 小林 順一 氏(NPO法人精神障害者自立支援ネットワー ク・宮崎もやいの会代表理事) 森 一代 氏(木城えほんの郷事務局長) 横山 茂 氏(よこやま司法行政事務所)

<県外研修派遣>

5名

<図書館アドバイザー派遣>

8館

平成24年度総会表彰者名簿

読書普及優良団体

読書団体名	代表者名
小林子ども遊学会 (小林市)	采女 みづえ
国富町音声訳グループ 「フレンド」 (国富町)	今井 藤子
いずみっこ (国富町)	新名 純子

優良職員

所属	職名	氏名
該当者なし		

(3) 宮崎県地方史研究連絡協議会

この会は、昭和48年11月10日に県内地方史の研究グループ・史談会、また郷土に関心をもつ個人を会員とし、相互の情報交換・研究発表を行い、県内の郷土史研究を進める目的で発足した。現在も活動を継続し、郷土史に関する情報交換・研究に尽力している。

事業実績

<役員会> 平成24年5月10日(木) 会場：県立図書館研修室
役員会では、総会に諮る決算・予算、事業計画について審議が行われた。

<地区別会議・理事会・総会・研究発表会>

平成24年6月21日(木) 会場：県立図書館研修ホールほか

役員改選の年度であり、地区別会議で地区理事を選出し、理事会において会長・副会長・監事を決めた。また、理事会の推薦により前会長の杉尾良也氏が顧問に就任することが決まった。総会では、新会長の飛田博温氏(高鍋史友会)の挨拶、新役員の紹介があり、その後役員会で協議した提案事項について審議が行われ、全ての議案が承認された。

総会に引き続き行われた研究発表会は、大淀川史談会の崎村恒夫氏を講師に招き、「城ヶ崎の成り立ちと俳諧の役割」と題して話をしていただいた。

<秋季研究発表大会> 平成24年10月23日(火) 会場：日向市文化交流センター

県北地区の日向市史談会が担当となり準備と運営を行い、日向市・日向市教育委員会の後援を得て実施された。午前中は日向市周辺史蹟巡見、午後は研究発表会が行われ、県内各地より約150名の会員が参加した。日向市細島の「黒田の家臣の墓」、江戸末期幕府砲台跡、西南の役官軍墓地を見学して回り、担当者の解説を聞いた。

午後は日向市文化交流センター小ホールで開会行事が行われ、宮史連会長あいさつの後、来賓の日向市長・日向市教育長が歓迎の言葉を述べられた。研修会では、黒田の家臣に由来する寺田屋騒動について「天皇の世紀・第九話急流」の上映があり、その後日向市史談会会員斉藤俊秀氏により「島津久光公と五つの悲劇 寺田屋騒動・日向黒田の家臣」と題した発表があった。

<その他>

- ・「地方史みやざき 第57号」の発行

役員及び加入団体

<役員> (任期：平成24年6月～平成26年6月)

会長	飛田博温(高鍋史友会)
副会長	中城順一(延岡史談会)、石川正男(日南郷土史会)
監事	湯浅倉平(個人理事)、秋葉国夫(佐土原地区郷土史同好会)
地区理事	甲斐誠二(日向市史談会)、牧 貴(日向郷土文化研究所) 亀澤轟幸(えびの市史談会)、坂元克吉(都城史談会) 吉田美代治(串間史談会)
顧問	杉尾良也(宮崎県地方史研究会)
事務局	宮崎県立図書館内

<加入団体>

(平成25年3月31日現在)

名 称	代 表 者	所 在	名 称	代 表 者	所 在
延岡史談会	中城順一	延岡市	宮崎県埋蔵文化財センター	北郷泰道	宮崎市
椎葉史談会	黒木勝実	椎葉村	日向郷土文化研究所	牧 貴	宮崎市
諸塚史談会	甲斐重光	諸塚村	佐土原地区郷土史同好会	秋葉国夫	宮崎市
日向市史談会	甲斐誠二	日向市	えびの市史談会	亀澤轟幸	えびの市
木城史友会	永友一郎	木城町	小林史談会	齋藤 勉	小林市
高鍋史友会	飛田博温	高鍋町	都城史談会	坂元克吉	都城市
宮崎考古学会	岩永哲夫	宮崎市	南九州文化研究会	山下博明	都城市
宮崎県地方史研究会	杉尾良也	宮崎市	日南郷土史会	石川正男	日南市
宮崎県総合博物館	長嶺泰弘	宮崎市	串間史談会	吉田美代治	串間市
宮崎県民俗学会	原田 解	宮崎市	北郷町史談会	本山隆義	日南市
大淀川史談会	佐原正寛	宮崎市			

団体会員：21団体 個人会員：8名

(4) 平成 2 5 年度 宮崎県立図書館資料推薦委員

番号	推薦分野	氏 名	所 属 等
1	哲 学	伊佐敷 隆弘	宮崎大学教育文化学部教授
2	歴史学(古代史、中世史)	永井 哲雄	元県史編さん室長
3	歴史学(近世史)	大賀 郁夫	宮崎公立大学教授
4	歴史学(西洋史)	中堀 博司	宮崎大学教育文化学部准教授
5	自然科学	木下 統	宮崎大学農学部准教授
6	社会科学	久保 和華	宮崎公立大学准教授
7	社会科学	中川 律	宮崎大学教育文化学部講師
8	"	飯島 忠夫	宮崎県弁護士会
9	語 学	伊勢野 薫	宮崎大学教育文化学部教授
10	"(英語)	ポール・リチャーズ	文化文教・国際課国際交流員
11	"(英語)	ヒュー・ニコル	宮崎公立大学教授
12	"(韓国語)	李 善愛	宮崎公立大学教授
13	"(中国語)	園田 美伽	宮崎公立大学等非常勤講師
14	"(外国語一般)	橋口 貴至	宮崎県国際交流協会常務理事
15	文 学	大津 貞子	宮崎児童文学まりの会会長
16	自然科学・歴史	長嶺 泰弘	県総合博物館長
17	美 術	渡辺 義人	県立美術館長
18	行 政	椎 重明	産業支援課長
19	教 育	山本 真司	教育研修センター所長
20	産 業	兒玉 洋一	宮崎県産業振興機構経営情報課長
21	健 康	和田 陽市	健康増進課長
22	衛生・環境	竹井 正行	衛生環境研究所長
23	工 学	古賀 孝士	工業技術センター所長
24	土木・建築	高橋 利典	技術企画課長
25	農 業	井上 裕一	総合農業試験場長
26	水 産	山田 卓郎	水産試験場長
27	畜 産	岩崎 充祐	畜産試験場長
28	林 業	森 房光	林業技術センター所長
29	体 育	大西 敏夫	スポーツ指導センター所長

【 參考資料 】

1 沿 革

(1) 県立図書館のあゆみ

年 月	図 書 館 の 歩 み
明治 35 年 5 月	私立日州教育会附属図書館を県に移管して創立。蔵書 2,300 冊、建物延 155.10 m ² (47 坪)。
大正 4 年 11 月	御大典記念事業として工費 15,000 円新館建設。
昭和 24 年 5 月	工費 10,115,000 円で増改築。
昭和 26 年 8 月	宮崎県立図書館協議会発足。
昭和 29 年 1 月	自動車文庫「やまびこ」開設、県内巡回開始。
昭和 30 年 4 月	佐土原藩嶋津日記の翻訳開始。
昭和 33 年 4 月	県内公共図書館連絡協議会・県内公共図書館 7 館で発足。
昭和 34 年 4 月	近隣の町村会館から出火、類焼のため建物 1,900.80 m ² (576 坪) 蔵書約 15,000 冊、フィルム 650 本、レコード 2,200 枚、美術品、庁用器具等焼失。
昭和 36 年 4 月	総工費 100,280,000 円 (付帯含む) で新館完成。鉄筋コンクリート 3 階建、延面積 3,245 m ² (986 坪)。
7 月	開 館
9 月	「やまびこ」2 号車運行開始。
昭和 37 年 4 月	5 ヶ年計画で P T A 母親文庫を開設。
昭和 40 年 1 月	宮崎県郷土史料総合目録を刊行。
昭和 41 年 4 月	3 ヶ年計画で行政資料所在目録調査開始。
昭和 42 年 5 月	複写サービス開始。
昭和 43 年 4 月	10 年計画で内藤家文書 (明治大学所蔵) のマイクロ撮影開始。
6 月	3 ヶ年計画で 3 級地以上の「へき地校」に「へき地仲よし子ども図書館」の設置開始。
8 月	「やまびこ」3 号車運行開始。
昭和 44 年 1 月	宮崎県行政資料所在目録刊行。
昭和 45 年 4 月	5 ヶ年計画で蔵書目録刊行事業開始。
	内藤家文書 (マイクロ・フィルム) の翻訳開始。
7 月	閲覧室冷房工事完了。
昭和 46 年 3 月	蔵書目録第 1 巻 (総記、哲学、歴史編) 刊行。
昭和 47 年 3 月	蔵書目録第 2 巻 (社会科学編) 刊行。
7 月	開架室の増設 (1 万冊を 2 万冊へ)。
9 月	県内公共図書館連絡協議会へ 21 市町村の加入。
昭和 48 年 3 月	蔵書目録第 3 巻 (自然科学、工学、工業、産業) 刊行。
4 月	自動車文庫による配本を 3 ヶ年計画で拠点サービス方式に切り換えることにし当年度に 22 町村が完了。
	宮崎県史料刊行事業開始。
7 月	県内公共図書館連絡協議会へ全市町村加入。
	小中学生に対する館外貸出制度新設。
11 月	宮崎県地方史研究連絡協議会を結成、研究大会開催。

年 月	図 書 館 の 歩 み
昭和49年1月	購入雑誌を146種類(従来63種類)に増加。
3月	蔵書目録第4巻(芸術、語学、文学編)刊行。
4月	機構改正により、総務課に総務係、調査連絡係。資料課と奉仕課の業務を再編成し館内奉仕課とし奉仕係、相談係、館外奉仕課に地方奉仕係、児童奉仕係を設け、史料刊行事業を推進するため史料室を独立した。
	古文書解読研究会(館内職員)発足。
	郷土文化講座(4講座)を開催。
	県内の読書推進に寄与することを目的に10冊文庫を設置。
	拠点サービス方式により市町村の自主的なサービス網の拡大のため特別貸出制度開設。
11月	全国公共図書館整理部門研究集会(27日~29日 中小企業センターほか)を開催。
昭和50年3月	宮崎県地方史研究紀要第1輯刊行。
	宮崎県史料の刊行開始。
4月	市町立図書館の文化活動をすすめる一助として地方文化講座を開設。延岡・都城・小林の3地区で開催。
	へき地の小中学生を対象に「へき地仲よし子ども大会」を開催。
昭和51年1月	郷土文化講座(4講座)に自然科学講座を加える。
3月	宮崎県地方史研究紀要第2輯刊行。
	蔵書目録第5巻(昭和48年度までの補遺)刊行。
昭和52年3月	宮崎県地方史研究紀要第3輯刊行。
4月	重要貴重図書購入5ヶ年計画を立案、実施。
8月	「やまびこ」4号車運行開始。
10月	蔵書目録第6巻(昭和49年度増加目録)刊行。
昭和53年1月	宮崎県地方史研究紀要第4輯刊行。
3月	蔵書目録第7巻(昭和50年度・51年度増加目録)刊行。
昭和54年3月	宮崎県地方史研究紀要第5輯刊行。
4月	N.D.C8版・N.C.R予備版に切換え。
6月	新収図書目録・県内公共図書館収蔵郷土資料目録刊行開始。
8月	全館冷房工事完了。
10月	開架室の増設(2万冊を2万4千冊に)
昭和55年3月	宮崎県地方史研究紀要第6輯刊行。
6月	児童読書傾向調査実施。
昭和56年1月	県立図書館基本構想に関する報告書がまとまる。
3月	宮崎県地方史研究紀要第7輯刊行。
6月	県民読書傾向調査実施。
昭和57年3月	宮崎県地方史研究紀要第8輯刊行。
9月	県民読書環境整備促進事業実施(12月まで)
12月	西日本子ども文庫寄贈(第5回目200冊)西日本新聞社。

年 月	図 書 館 の 歩 み
昭和 58 年 1 月	日曜日開館試行（3 月まで第 2、第 4 日曜日）。
3 月	宮崎県地方史研究紀要第 9 輯刊行。
5 月	日曜日開館再試行（3 月まで第 3 日曜日を除くすべての日曜日）。
9 月	宮崎県総合文化公園基本構想検討会議に館長が委員として参画。
昭和 59 年 3 月	上記検討会議が宮崎県総合文化公園基本構想策定に関する意見を提出。 宮崎県地方史研究紀要第 10 輯刊行。
4 月	日曜日開館実施。
6 月	宮崎県立図書館新館建設設計画作成委員会設置（2 月まで委員会 11 回を開催）。
昭和 60 年 1 月	宮崎市杉田正臣氏より図書等 9,322 点寄贈（「杉田文庫」創設）。
3 月	宮崎県立図書館新館建設設計画作成委員会で新館建設設計画書を作成、県教育委員会へ報告。 宮崎県総合文化公園基本構想検討会議が県総合文化公園基本計画公表。 宮崎県地方史研究紀要第 11 輯刊行。
4 月	新館建設準備委員会（3 月まで 5 回開催）及びコンピュータ導入委員会（3 月まで 13 回開催） 設置。
7 月	新館建築、設計委託契約（安井・宮崎建築設計共同企業体）。昭和 61 年 3 月 20 日設計完了。
9 月	宮崎市岩切章太郎氏香典返しとして 500 万円寄贈。（「岩切文庫」創設）。
10 月	全国公共図書館整理部門研究集会（17 日～18 日ホテルフェニックス）を開催。
昭和 61 年 3 月	宮崎県地方史研究紀要第 12 輯刊行。 宮崎市杉田正臣氏より図書等 2,196 点寄贈（「杉田文庫」へ受入れ） 杉田文庫目録（図書の部）刊行。
10 月	新館建設工事契約県議会議決。 新館建設工事着工。
昭和 62 年 3 月	宮崎県地方史研究紀要第 13 輯刊行。 杉田文庫目録（遺墨類）刊行。
12 月	新館完成、引渡。
昭和 63 年 1 月	旧館閉鎖。
2 月	新館へ移転開始。
3 月	宮崎県地方史研究紀要第 14 輯刊行。
4 月	機構改革 4 課 8 係。
5 月	新館落成・開館記念式典及び記念行事。 コンピュータ・システム稼働。 財団法人宝くじ協会より移動図書館車寄贈。（「やまびこ」5 号車運行開始。） 安井息軒銅像除幕式。 開館記念 「杉田文庫 稀覯資料展」開催。 「杉田文庫 俳諧資料展」開催。
7 月	図書館ボランティア養成講座開設。

年 月	図 書 館 の 歩 み
昭和63年10月	全国図書館大会次期開催誘致表明。
11月	読書週間記念「杉田作郎展」開催。
平成元年2月	全国図書館大会準備会発足。
2月	全国図書館大会分科会構成検討委員会開催。 ビデオテープ「宮崎県内の若山牧水歌碑その - 1」作成。
3月	宮崎県地方史研究紀要第15輯刊行。
4月	平成元年度全国図書館大会第1回実行委員会開催。
5月	新館開館1周年記念「よい絵本展」「緑陰映写会」「外国図書展」「稀覯資料特別展」開催。
7月	紀宮様（清子内親王殿下）本館御視察。
10月	平成元年度全国図書館大会第2回実行委員会開催。 平成元年度全国図書館大会（25日～27日サンホテルフェニックス外）開催。
11月	日本図書館協会百年史県内編集会議。
平成2年1月	新館の入館者100万人を突破。
2月	児童図書館研究会宮崎学習会開催（延岡ロイヤルホテル）。
3月	平成元年度全国図書館大会第3回実行委員会開催。 宮崎県地方史研究紀要第16輯刊行。 ビデオテープ「宮崎県内の若山牧水歌碑その - 2」作成。
7月	第1回緑陰ビデオフォーラム開催。
11月	九州各県及び政令指定都市立図書館郷土資料部門研究集会（29日～30日みやざき会館）開催。
平成3年1月	「瑛九作品展」開催。
3月	図書館紹介ビデオ作成。 宮崎県地方史研究紀要第17輯刊行。 「嶺南日誌」1巻の発行（3巻で終刊）。
5月	九州各県及び政令指定都市立図書館長会議（28日～29日みやざき会館）開催。
平成4年3月	県立図書館コンピュータシステム一部開発（蔵書目録・主題検索）。 宮崎県地方史研究紀要第18輯刊行。
6月	「杉田文庫 資料展」開催。
9月	第1回宮崎県図書館ネットワーク検討委員会開催。
10月	宮崎県立図書館創立90周年記念「文化講演会」開催。
平成5年2月	九州地区公共図書館ゼミナール開催。
3月	宮崎県図書館ネットワーク大綱、宮崎県図書館ネットワーク実施要綱制定。 県立図書館コンピュータシステム一部開発（利用者開放端末・ネットワークシステム）。 宮崎県地方史研究紀要第19輯刊行。
4月	コンピュータ新システムへ移行（MILAI ）。
6月	「杉田文庫 常設展」開催。
7月	宮崎県立図書館コンピュータネットワークシステム（通称 Myline ）運用開始（当初5市町村加入）。

年 月	図 書 館 の 歩 み
平成5年7月	宮崎県立図書館協力連絡車運行開始。
10月	「瑛九作品展」開催。
平成6年1月	「杉田文庫 常設展」開催。
3月	図書館利用案内ビデオ「本・出会い」作成。
	宮崎県地方史研究紀要第20輯刊行。
	「内藤充真院道中記」刊行。
6月	「杉田作郎と50名の俳人たち」開催。
9月	九州各県及び政令指定都市立図書館総務・情報部門担当者会議開催。
10月	「杉田文庫 はるかなる芭蕉展」開催。
平成7年3月	宮崎県地方史研究紀要第21輯刊行。
	「佐土原藩・唐船漂着記」刊行。
	図書館利用案内ビデオ「本のかけ橋」制作。
	県立図書館ネットワークシステムへ20市町村加入済。
10月	宮崎県総合文化公園グランドオープン記念事業「21世紀の子どもたちに伝えるみやざきの本100冊展」開催。
	「芥川賞・直木賞受賞作品と作家肖像展」開催。真筆特別展「杉田文庫の世界」開催。
12月	「21世紀の子どもたちに伝えるみやざきの本100冊の本」刊行。
平成8年3月	宮崎県地方史研究紀要第22輯刊行。
	「佐土原藩・日向諸藩騒動記」刊行。
4月	機構改革4課7係。
	ビデオテープ「目で見るみやざき100冊の本」、カセットテープ「耳で聞く100冊の本」作成。
平成9年1月	「杉田文庫公開展」開催。
3月	宮崎県地方史研究紀要第23輯刊行。
	「佐土原藩譜」刊行。
	瑛九絵画作品等86点を県立美術館へ移管。
6月	図書貸出限度冊数3冊を5冊に、児童図書室の平日の開館時間を午前9時に変更。
10月	特別展「サミット新聞報道展」を開催。
	特別展「文学賞受賞作品展」、「牧水賞・牧水作品展」開催。
11月	初めての屋外弦楽・フルートコンサートを実施。
平成10年1月	「城ヶ崎俳壇・作郎の周辺」開催。
3月	宮崎県地方史研究紀要第24輯刊行。
	「佐土原藩譜(二)」刊行。
	マイライン全市町村接続。
4月	新コンピュータシステム「liswing」の稼働。
	CD-ROM設置。
6月	「子どもの心を育てる図書館活動推進事業」により、図書館と学校との融合の在り方について研究開発を行う(平成10年~11年)

年 月	図 書 館 の 歩 み
平成 10 年 8 月	美術館、芸術劇場と初の共同企画事業 特別展 「華麗なるハプスブルク家ゆかりの図書展」開催。
10 月	図書館づくりフォーラム開催。 特別展「郷土の文学・受賞作家作品展」開催。
11 月	「図書館フェスタ」開催。
平成 11 年 1 月	「杉田作郎品展」開催。
3 月	宮崎市平嶋周次郎氏香典返しとして 30 万円寄贈（「平嶋文庫」創設） 宮崎県地方史研究紀要第 25 輯刊行。 「佐土原藩譜（三）」刊行。
6 月	館蔵貴重資料展「20 世紀の初等教育を支えた教科書展」開催。
7 月	美術館との共同事業特別展「風の記憶 安野 光雄ポスターと図書展」開催。
平成 12 年 1 月	「杉田文庫近代文学展」開催。
4 月	インターネットによるホームページ開設。
6 月	サミット宮崎外相会合記念特別展「サミット図書展」開催。
9 月	宮崎県地方史研究紀要第 26 輯刊行。 佐土原藩嶋津家江戸日記（一）刊行。
10 月	全国公共図書館参考事務研究集会開催。
平成 13 年 3 月	宮崎県地方史研究紀要第 27 輯刊行。 佐土原藩嶋津家江戸日記（二）刊行。
4 月	「みどりの図書館づくり」事業発足
11 月	「みどりの図書館フェスタ」開催。
平成 14 年 1 月	読み聞かせ研修会。
2 月	図書館地区別研修（九州・沖縄地区）
3 月	宮崎県地方史研究紀要第 28 輯刊行。 佐土原藩嶋津家江戸日記（三）刊行。
10 月	図書館創立 100 周年記念事業を開催。
11 月	100 周年記念式典。
平成 15 年 2 月	九州各県及び政令指定都市立図書館奉仕部門担当者会議開催。
3 月	「100 年のあゆみ」刊行。 佐土原藩嶋津家江戸日記（四）刊行。 宮崎県地方史研究紀要第 29 輯刊行。
4 月	新コンピュータシステム「iLiswing21 / UX」の稼働。 県内図書館横断検索システム導入（4 館）
7 月	国立国会図書館総合目録ネットワークへの参画。 パソコン 2 台でのインターネット閲覧サービス開始。
平成 16 年 3 月	宮崎県地方史研究紀要第 30 輯刊行。 佐土原藩嶋津家江戸日記（五）刊行。

年 月	図 書 館 の 歩 み
平成 16 年 4 月	組織改正、視聴覚係を読書推進係に変更。 持ち込みパソコンでのインターネット閲覧サービス開始（7席）。
6 月	「ビジネス情報コーナー」の開設
10 月	九州各県及び政令指定都市立図書館総合・経営部門担当者会議開催。
平成 17 年 3 月	宮崎県地方史研究紀要第 31 輯刊行。 佐土原藩嶋津家江戸日記（六）刊行。
4 月	祝日開館試行開始。
5 月	入館者 1,000 万人突破。
6 月	閲覧室内学習室改装「郷土資料室」の新設。
10 月	「みどりの図書館フェスタ」開催。 図書館利用講座開始。
12 月	6 代目移動図書館車「やまびこ」引継。
平成 18 年 1 月	ビジネス相談窓口の共同設置開始。
2 月	移動図書館車「やまびこ」養護学校訪問開始。
3 月	宮崎県地方史研究紀要第 32 輯刊行。 佐土原藩嶋津家江戸日記（七）刊行。
4 月	2 課 7 担当制に組織改正。
7 月	宮崎県環境情報センターオープン。
11 月	「みどりの図書館フェスタ」開催。
12 月	図書館サービス計画ワークショップ開催。
平成 19 年 1 月	図書館フォーラム開催。
2 月	閲覧室内改装ロッカー室廃止、「環境情報センター」、「新聞・AVコーナー」移動
3 月	ビジネス支援フォーラム開催。 身障者用駐車場屋根工事完成。 宮崎県地方史研究紀要第 33 輯刊行。 佐土原藩嶋津家江戸日記（八）刊行。
4 月	ホームページにみやざき本のページ開始。
11 月	「みどりの図書館フェスタ」開催。
12 月	「みやざき発 Live! Library～地域づくりと図書館のミッション」開催。
平成 20 年 2 月	図書館サイン見直し。 健康情報コーナー設置。 「学校図書館運営のてびき」発行。
3 月	宮崎県地方史研究紀要第 34 輯刊行。 佐土原藩嶋津家江戸日記（九）刊行。
4 月	2 課 6 担当制に組織改正。
11 月	「みどりの図書館フェスタ」開催。
平成 21 年 2 月	「子育て支援コーナー」の開設。

年 月	図 書 館 の 歩 み
平成 21 年 3 月	宮崎県地方史研究紀要第 35 輯刊行。 佐土原藩嶋津家江戸日記(十)刊行。
4 月	新コンピュータシステム「iLiswing21 / UX+」の稼働。
11 月	「みどりの図書館フェスタ」開催。
平成 22 年 3 月	「アメリカンシェルフ」オープン。 宮崎県地方史研究紀要第 36 輯刊行。 佐土原藩嶋津家江戸日記(十一)刊行。
4 月	県産業支援財団、県商工会議所連合会、日本政策金融公庫宮崎支店(国民生活事業)、県立図書館の四者で、ビジネス支援に関する覚書を締結。
6 月	口蹄疫拡大防止のため、6 月 12 日から 7 月 26 日の間、休館。
8 月	第 34 回全国高等学校総合文化祭御臨席、秋篠宮・同妃両殿下、佳子内親王殿下本館御視察。
9 月	「親子の絆を深める子育て読書推進事業」移動図書館車「やまびこ」子育て支援センター訪問開始。
10 月	新書庫へ視聴覚演習室改修(収蔵能力 4 万冊増)。
11 月	「みどりの図書館フェスタ」開催。 図書館地区別研修(九州・沖縄地区)開催。
平成 23 年 3 月	児童室内に授乳スペースの設置。 貸出点数を 1 人 5 点から 10 点(児童図書室の資料は 5 点まで)に変更。 宮崎県地方史研究紀要第 37 輯刊行。 佐土原藩嶋津家江戸日記(十二)刊行。 県立図書館ブログ開始。
11 月	「みどりの図書館フェスタ」開催。
平成 24 年 1 月	ルース駐日アメリカ大使来館、河野知事と英語の絵本の読み聞かせ会開催。 古事記編さん 1300 年記念閲覧室内「古事記・日本書紀」コーナーを設置。
2 月	閲覧室 A V コーナー機器更新・液晶 DVD 対応機器導入。
3 月	話集・音声 CD「みやざきの言の葉」(神話・伝承、民話編)刊行。 宮崎県地方史研究紀要第 38 輯刊行。 佐土原藩嶋津家江戸日記(十三)刊行。
5 月	書庫の空調・電気設備改修工事に伴い休館(5 月 21 日から 6 月 8 日)。
7 月	子育て相談おはなし会開始。 福岡アメリカンセンターとの共催で伊藤頼子氏特別講演会及び英語の絵本読み聞かせ会開催。
9 月	空調用「冷温水器発生機」更新及び改修に伴い北玄関封鎖(9 月 26 日から 11 月 26 日)。
11 月	「みどりの図書館フェスタ」開催。
12 月	宮崎市佐藤雄一氏の御遺族から児童書・絵本の寄贈(10 年間 3,000 冊)。「かば先生文庫」を創設、贈呈式。 図書館政策フォーラム「図書館はどう使えるか～明日の生きる力と図書館～」開催。
平成 25 年 2 月	児童図書室、移動図書館車「やまびこ」に「かば先生コーナー」の棚整備。

年 月	図 書 館 の 歩 み
<p>平成 25 年 2 月</p> <p>3 月</p>	<p>閲覧室内の新聞コーナー、データベース・パソコンコーナーの模様替え。オンラインデータベース用パソコン 2 台増設。マルチメディアデイジー体験コーナー設置。</p> <p>宮崎県環境情報センターを 1 階閲覧室から 1 階ロビーに移転。</p> <p>宮崎県地方史研究紀要第 39 輯刊行。</p> <p>佐土原藩嶋津家江戸日記（十四）刊行。</p>

(2) 歴代館長名

歴代	就任年月	転退年月	氏名	備考	歴代	就任年月	転退年月	氏名	備考
初代	明治 35. 5	明治 35.10	沢田 重遠	学務課長兼	26	昭和 46. 8	昭和 47. 3	竹内 敬郎	教育次長兼
2	" 36.11	" 38. 5	山内 卯太郎	県視学兼	27	" 47. 4	" 48. 3	杉田 利治	専任
3	" 38. 6	" 40. 2	小山 季郎	"	28	" 48. 4	" 51. 3	園田 穂	"
4	" 40. 2	" 42.12	石神 徳蔵	"	29	" 51.4	" 53. 3	日高 千文	"
5	" 43. 1	大正 2. 6	市川 覃	学務課長兼	30	" 53. 4	" 57. 3	三宅 孝明	"
6	大正 2. 6	" 2. 8	林 寿夫	"	31	" 57. 4	" 59. 3	比江島重俊	"
7	" 2. 8	" 3. 8	卜部 正一	"	32	" 59. 4	平成 2. 3	大坪 學	"
8	" 3. 8	" 8. 2	山内 卯太郎	専任	33	平成 2. 4	" 4. 3	新貝 晴男	"
9	" 8. 2	" 11. 3	新原 俊秀	"	34	" 4. 4	" 5. 3	久徳 菊雄	"
10	" 11. 4	" 11. 8	天谷 虎之助	学務課長兼	35	" 5. 4	" 6. 3	村岡 啓吾	"
11	" 11. 9	" 12.11	岡本 保三	"	36	" 6. 4	" 8. 3	佐野 芳弘	"
12	" 12.12	" 14. 4	小山 三郎	"	37	" 8. 4	" 9. 3	黒木 康博	"
13	" 14. 5	昭和 4. 3	多胡 全	社会教育主事兼	38	" 9. 4	" 11. 3	安田 天祥	"
14	昭和 4. 4	" 4. 6	古城 林	学務課長兼	39	" 11. 4	" 13. 3	四元 邦和	"
15	" 4. 7	" 5.12	阿賀 正美	"	40	" 13. 4	" 14. 3	島内 清成	"
16	" 5.12	" 6.12	手島 伝	"	41	" 14. 4	" 15. 3	早川 烈	"
17	" 6.12	" 7. 1	中島 知道	"	42	" 15. 4	" 15. 8	岩崎 武	"
18	" 7. 2	" 13. 3	若山 甲蔵	専任	43	" 15. 8	" 19. 3	伊藤 惇一	"
19	" 13. 3	" 16. 3	桐山 修	専任嘱託	44	" 19. 4	" 21. 3	宮永 博美	"
20	" 16. 3	" 17. 5	山本 栄喜	社会教育課長兼	45	" 21. 4	" 22.3	一原則 幸	"
21	" 17. 7	" 20. 3	大山 俊建	"	46	" 22. 4	" 23.3	矢野 好孝	"
22	" 20. 4	" 22. 4	日高 重孝	専任	47	" 23. 4	" 24.3	高島 俊一	"
23	" 22. 5	" 32. 9	中村 地平	専任	48	" 24. 4	" 25.3	甲斐 睦教	"
24	" 32.10	" 46.3	日高 一	専任	49	" 25. 4		坂本 義広	"
25	" 46. 4	" 46. 8	穂積 正晴	教育次長兼					

2 県立図書館条例・規則

(1) 県立図書館条例

(昭和25年12月26日 条例第49号)
(最終改正 平成24年 3月 条例第30号)

(設置)

第1条 図書館法(昭和25年法律第118号。以下「法」という。)第10条の規定に基づき、県立図書館(以下「図書館」という。)を設置する。

2 図書館の位置は、宮崎市船塚3丁目210番地1とする。

(県立図書館協議会)

第2条 図書館に法第14条の規定に基づく県立図書館協議会(以下「協議会」という。)を置く。

2 協議会の委員の定数は、10人以内とする。

3 委員は、学校教育及び社会教育の関係者、家庭教育の向上に資する活動を行う者並びに学識経験のある者の中から、県教育委員会が任命し、又は委嘱する。

4 委員の任期は、2年とする。ただし、補欠委員の任期は、前任者の残任期間とする。

5 委員は、再任されることができる。

6 協議会の会議は、図書館長が招集する。

(委任)

第3条 この条例の施行に関し必要な事項は、県教育委員会が定める。

附 則

この条例は、公布の日から施行し、昭和25年7月30日から適用する。但し、第2条から第7条までの規定は、昭和26年4月1日から施行する。

附 則(平成24年3月29日条例第30号)

この条例は、平成24年4月1日から施行する。

(2) 県立図書館管理規則

(昭和63年4月1日 宮崎県教育委員会規則第 3号)
(最終改正 平成23年7月 宮崎県教育委員会規則第 4号)

第1章 総則

(趣旨)

第1条 この規則は、地方教育行政の組織及び運営に関する法律(昭和31年法律第162号)第33条第1項及び県立図書館条例(昭和25年宮崎県条例第49号)第6条の規定に基づき、県立図書館(以下「図書館」という。)の管理運営に関し必要な事項を定めるものとする。

(定義)

第2条 この規則において「図書館資料」とは、図書館法(昭和25年法律第118号)第3条第1号に規定する図書館資料をいう。

第2章 組織及び職制

第1節 組織

(課の設置)

第3条 図書館に、次の課を置く。

総務・企画課

情報提供課

(総務・企画課)

第4条 総務・企画課の分掌事務は、次のとおりとする。

(1) 図書館の事業の総合企画及び総合調整に関すること。

(2) 職員の人事、給与及び服務に関すること。

- (3) 予算の執行及び決算に関すること。
 - (4) 文書の收受、発送及び保存に関すること。
 - (5) 公印の管守に関すること。
 - (6) 施設及び設備の維持管理に関すること。
 - (7) 図書館情報システムの運営管理に関すること。
 - (8) 読書活動の普及及び読書団体の育成に関すること。
 - (9) 市町村の図書館活動に対する援助及び協力に関すること。
 - (10) 視聴覚ライブラリーに関すること。
 - (11) 県立図書館協議会に関すること。
 - (12) 館の事務で情報提供課の主管に属さないこと。
- (情報提供課)

第 5 条 情報提供課の分掌事務は、次のとおりとする。

- (1) 図書館資料の収集、整理及び保管に関すること。
- (2) 図書館資料の寄贈及び寄託に関すること。
- (3) 郷土に関する資料の調査及び研究に関すること。
- (4) 図書館資料の利用に関すること。
- (5) 参考調査相談及び情報の提供に関すること。
- (6) 学習の機会の提供及び研修会等の実施に関すること。

第 6 条及び第 7 条 削除

第 2 節 職 制

(職及び職務)

第 8 条 図書館に、次の表の左欄に掲げる職を置き、その職務は、同表の右欄に掲げるとおりとする。

職	職	務
館 長	館	館務を掌理し、所属職員を指揮監督する。
副 館 長	館	館長を補佐し、館長に事故があるとき、又は館長が欠けたときは、その職務を代行する。
課 長	課	上司の命を受けて、課に属する事務を処理する。
主任 社会教育主事	主任	上司の命を受けて、社会教育に関する相当高度の専門的・技術的指導業務に従事する。
社会教育主事	主事	上司の命を受けて、社会教育に関する専門的・技術的指導業務に従事する。
専門主事	主事	上司の命を受けて、専門的知識及び経験を必要とする事務に従事する。
専門技師	技師	上司の命を受けて、専門的知識及び経験を必要とする技術に従事する。
主任主事	主事	上司の命を受けて、複雑な事務に従事する。
主任技師	技師	上司の命を受けて、複雑な技術に従事する。
主 事	主事	上司の命を受けて、事務に従事する。
技 師	技師	上司の命を受けて、技術に従事する。

2 前項に規定する職のほか、図書館に、必要に応じ、次の表の左欄に掲げる職を置き、その職務は、同表の右欄に掲げるとおりとする。

職	職	務
主 幹	主幹	上司の命を受けて、図書館の特定の事務を掌理する。
専門主幹	主幹	上司の命を受けて、専門的知識及び経験を必要とする図書館の特定の事務を掌理する。
副 主 幹	主幹	上司の命を受けて、その相当高度の専門的業務に従事し、又は図書館の特定の事務を掌理する。
主 査	主査	上司の命を受けて、専門的業務に従事する。

(その他の職)

第9条 前条に規定する職のほか、図書館に、技術員を置く。

2 技術員は、上司の命を受けて、技能又は労務に従事する。

第3章 図書館奉仕

第1節 通則

(開館時間)

第10条 図書館の開館時間は、次のとおりとする。

(1) 閲覧室及び対面朗読室

午前9時から午後7時まで(日曜日及び国民の祝日に関する法律(昭和23年法律第178号)に規定する休日(以下「休日」という)にあつては、午前9時から午後5時まで)

(2) 児童図書室、特別展示室、視聴覚ライブラリー、研修ホール、研修室及び視聴覚室

午前9時から午後5時まで

2 前項の規定にかかわらず、館長は、必要があると認めるときは、前項の開館時間を変更することができる。

(休館日)

第11条 図書館の休館日は、次のとおりとする。

(1) 月曜日(月曜日が休日にあたる時は、その日後においてその日に最も近い休日でない日)

(2) 1月1日から1月4日まで及び12月29日から12月31日まで

(3) 特別整理期間(あらかじめ、館長が定めて公示する期間)

2 前項の規定にかかわらず、館長は、特に必要があると認めるときは、臨時に前項の休館日に開館し、又は開館日に休館することができる。この場合においては、その都度公示するものとする。

(入館の制限等)

第12条 館長は、図書館を利用しようとする者が次の各号の一に該当するときは、その入館を制限し、若しくは退館を命じ、又はその利用を中止させることができる。

(1) 公の秩序又は善良の風俗を乱すおそれがあると認められるとき。

(2) 施設、設備、図書館資料等を損傷し、又は滅失するおそれがあると認められるとき。

(3) 条例若しくはこの規則又は館長の指示に従わないとき。

4) 前3号に掲げる場合のほか、図書館の管理運営上支障があると認められるとき。

(損害賠償)

第13条 故意又は過失によって図書館資料等を亡失し、又は損傷した者は、その損害を賠償しなければならない。

第2節 図書館資料の館内利用

(図書館資料の館内利用)

第14条 図書館資料は、館内の所定の場所において利用することができる。

(図書館資料の複写)

第15条 図書館資料の複写は、著作権法(昭和45年法律第48号)第31条の規定に基づき、利用者の調査研究の用に供するために、図書館が所有する図書館資料を用いて、公表された著作物の一部分について行うものとする。

(図書館資料の複写の申込み)

第16条 図書館資料の複写を依頼しようとする者は、図書館資料複写申込書を館長に提出し、その許可を受けなければならない。

(図書館資料の複写に要する費用等)

第16条の2 前条の規定により、図書館資料の複写を依頼しようとする者は、当該図書館資料の複写に要する費用を負担しなければならない。

2 前項の図書館資料の複写に要する費用は、次の表に定める額とし、同費用は前納しなければならない。

区 分	単 位	金 額
電子複写（単色のもの）	複写一面につき	10円
電子複写（カラーのもの）	複写一面につき	50円
マイクロフィルム複写	一枚につき	50円

（図書館資料の複写の制限）

第17条 次の各号に掲げる図書館資料は、複写することができない。

- （1）寄託資料でその寄託契約の条件として複写が禁止されているもの
 - （2）技術的に複写が困難な図書館資料
 - （3）複写することによって損傷するおそれのある図書館資料
 - （4）前3号に掲げるもののほか、館長が複写することを不相当と認めた図書館資料
- （複写物の利用上の責任）

第18条 複写物の利用による著作権法上の責任は、当該複写物の提供を受けた者が負うものとする。

（参考調査相談）

第19条 図書館資料に係る参考調査相談（以下「参考調査相談」という。）をしようとする者は、口頭、電話、文書その他の方法により、申し込むことができる。

2 参考調査相談に対する回答は、主として図書館資料その他の資料を提供して行うものとする。

（回答を行わない事項）

第20条 古文書、美術品等の鑑定、法律相談、医療相談、学習課題の解答その他回答することが不相当と認められる事項に係る参考調査相談に対しては、回答を行わないものとする。

第3節 図書館資料等の館外利用

（図書館資料の館外利用）

第21条 図書館資料を館外において利用しようとする者は、館長が別に定めるところにより、宮崎県立図書館貸出利用券（以下「貸出利用券」という。）の交付を受けなければならない。

第22条 図書館資料を館外において利用しようとする者は、貸出利用券を係員に提示し、その手続をしなければならない。

2 館外において利用することのできる図書館資料の数は、利用者1人につき、未返却図書館資料の数を含め10点以内（うち、児童図書室の図書館資料は、未返却図書館資料の数を含め5点以内）とする。

3 図書館資料の館外利用の期間は、2週間以内とする。

（団体文庫及び巡回文庫）

第23条 図書館に、読書団体が館外において利用する文庫として団体文庫を設け、市町村の機関が館外において利用する文庫として巡回文庫を設ける。

2 前項の利用に関しては、館長が別に定める。

（視聴覚機器の館外利用）

第24条 視聴覚機器を館外において利用することのできる者は、社会教育及び生涯学習に関連のある研修等を行う団体（以下「社会教育等団体」という。）とする。

2 第21条及び第22条第1項の規定は、社会教育等団体が視聴覚機器を館外において利用しようとする場合について準用する。

（図書館資料の館外利用の制限）

第25条 次の各号に掲げる図書館資料は、館外利用をすることができない。

- （1）貴重図書、古文書、新聞類及び保存用雑誌類並びにマイクロ資料
 - （2）参考図書及び郷土資料のうち館長が指定したもの
 - （3）寄託資料又は貸与資料で寄託者又は貸与者が館外利用を承認しないもの
 - （4）前3号に掲げるもののほか、館長が館外利用を不相当と認めた図書館資料
- （図書館資料等の館外利用の停止等）

第26条 館長は、次の各号の一に該当するときは、図書館資料又は視聴覚機器（以下「図書館資料等」という。）の館外利用を一定期間停止し、又は貸出利用券を無効として再交付しないことができる。

- （1）偽りその他不正の手段により貸出利用券の交付を受けたとき。

(2) 貸出利用券を他人に譲渡し、又は貸与したときその他不正に使用したとき。

(3) 利用した図書館資料等を期限内に返還しないとき。

(貸出利用券の紛失又は破損)

第 2 7 条 貸出利用券の交付を受けた者は、当該貸出利用券を紛失し、又は破損したときは、直ちにその旨を館長に届け出て、所定の手続に従い、再交付を受けなければならない。

(図書館資料等の亡失又は損傷)

第 2 8 条 図書館資料等を館外において利用しようとする者は、当該図書館資料等を亡失し、又は損傷したときは、直ちにその旨を館長に届け出なければならない。

(図書館資料等の特別貸出し)

第 2 9 条 第 2 1 条、第 2 2 条、第 2 4 条及び第 2 5 条の規定にかかわらず、館長は、次の各号の一に該当する者に対し、図書館資料等の特別貸出しをすることができる。

(1) 公用の研究又は調査のため必要があると認められる者

(2) 学術に関する研究又は調査のため必要があると認められる者

(3) 前二号に掲げる者のほか、館長が適当と認める者

2 図書館資料等の特別貸出しに関し必要な事項は、館長が別に定める。

第 4 節 研修ホール等の利用

(研修ホール等の利用)

第 3 0 条 研修ホール、研修室及び視聴覚室(以下「研修ホール等」という。)を利用することができる者は、社会教育等団体とする。

第 3 1 条 研修ホール等を利用しようとする者(以下「研修ホール等の利用者」という。)は、研修ホール等利用申込書を館長に提出し、その許可を受けなければならない。

2 前項の規定による利用の許可は、研修ホール等利用申込書を交付して行う。

3 館長は、次の各号の一に該当するときは、研修ホール等の利用を許可しないものとする。

(1) 研修ホール等利用申込書の内容に偽りがあるとき。

(2) 公の秩序又は善良の風俗を乱すおそれがあると認められるとき。

(3) 施設、設備、図書館資料等を損傷し、又は滅失するおそれがあると認められるとき。

(4) もっぱら営利を目的とし、又はそのおそれがあると認められるとき。

(5) 設置目的に反する利用をするおそれがあると認められるとき。

(6) 暴力団員による不当な行為の防止等に関する法律(平成 3 年法律第 77 号)第 2 条第 2 号に規定する暴力団又は同条第 6 号に規定する暴力団員若しくはこれら暴力団及び暴力団員と密接な関係を有する者の利益になると認められるとき。

(7) 前各号に掲げる場合のほか、図書館の管理運営上支障があると認められるとき。

(研修ホール等の利用の許可の取消し等)

第 3 2 条 館長は、研修ホール等の利用者が前条第 3 項各号の一に該当するに至つたときは、その利用の許可を取り消し、又はその利用を中止させることができる。

2 前項の規定による取消し等によって研修ホール等の利用者に損害が生じても、県は、その損害の賠償の責めを負わないものとする。

第 5 節 図書館資料の寄贈及び寄託

(図書館資料の寄贈及び寄託)

第 3 3 条 図書館は、図書館資料の寄贈又は寄託を受けることができる。

2 図書館資料の寄託に要する費用は、原則として寄託者の負担とする。

3 図書館資料の寄贈及び寄託の手続については、館長が別に定める。

(寄託資料の取扱い)

第 3 4 条 寄託資料の管理については、図書館の所有する図書館資料に準じて行う。ただし、寄託者の承認がある場合を除き、館外において利用できないものとする。

(寄託資料の賠償責任)

第 3 5 条 寄託資料が天災その他不可抗力により滅失し、又は損傷したときは、県は、その損害の賠償の責

めを負わないものとする。

第4章 雑 則

(委任)

第36条 この規則に定めるもののほか、図書館の管理運営に関し必要な事項は、別に定める。

附 則

(施行期日)

1 この規則は、公布の日から施行する。

(県立図書館規則等の廃止)

2 次に掲げる規則は、廃止する。

1) 県立図書館規則(昭和26年宮崎県教育委員会規則第1号)

2) 県立図書館附設設備利用規則(昭和40年宮崎県教育委員会規則第5号)

附 則(平成4年8月25日教育委員会規則第8号)

この規則は、平成4年9月1日から施行する。

附 則(平成7年3月31日教育委員会規則第10号)

この規則は、平成7年4月1日から施行する。

附 則(平成8年3月29日教育委員会規則第4号)

この規則は、平成8年4月1日から施行する。

附 則(平成9年5月22日教育委員会規則第5号)

この規則は、平成9年6月1日から施行する。

附 則(平成13年3月30日教育委員会規則第9号)

この規則は、平成13年4月1日から施行する。

附 則(平成16年3月29日教育委員会規則第8号)

この規則は、平成16年4月1日から施行する。

附 則(平成18年3月30日教育委員会規則第12号)

この規則は、平成18年4月1日から施行する。

附 則(平成19年3月30日教育委員会規則第3号)

この規則は、平成19年4月1日から施行する。

附 則(平成20年3月31日教育委員会規則第6号)

この規則は、平成20年4月1日から施行する。

附 則(平成23年2月21日教育委員会規則第1号)

この規則は、平成23年3月1日から施行する。

附 則(平成23年7月21日教育委員会規則第4号)

この規則は、平成23年8月1日から施行する。

(3) 県立図書館協議会運営規則

(昭和26年2月16日 教育委員会規則第3号)

第1条 県立図書館協議会(以下「協議会」という。)に議長及び副議長各1人を置く。

2 議長及び副議長は、協議会委員(以下「委員」という。)の互選とし、その任期は委員の任期による。

3 議長は、委員の会議を主宰する。

4 副議長は、議長を補佐し、議長に事故があるとき、又は議長が欠けたときは、その職務を行う。

第2条 図書館長は、協議会開催の日時、場所及び難題を、あらかじめ委員に通知しなければならない。

2 協議会招集の通知後に、緊急の難題が提案されたときは、直ちに、これを付議することができる。

第3条 協議会の議事は、出席委員の過半数で決する。

第4条 この規則に定めるもののほか、協議会の運営に関し必要な事項は、協議会において定める。

附 則

この規則は、昭和26年4月1日から施行する。

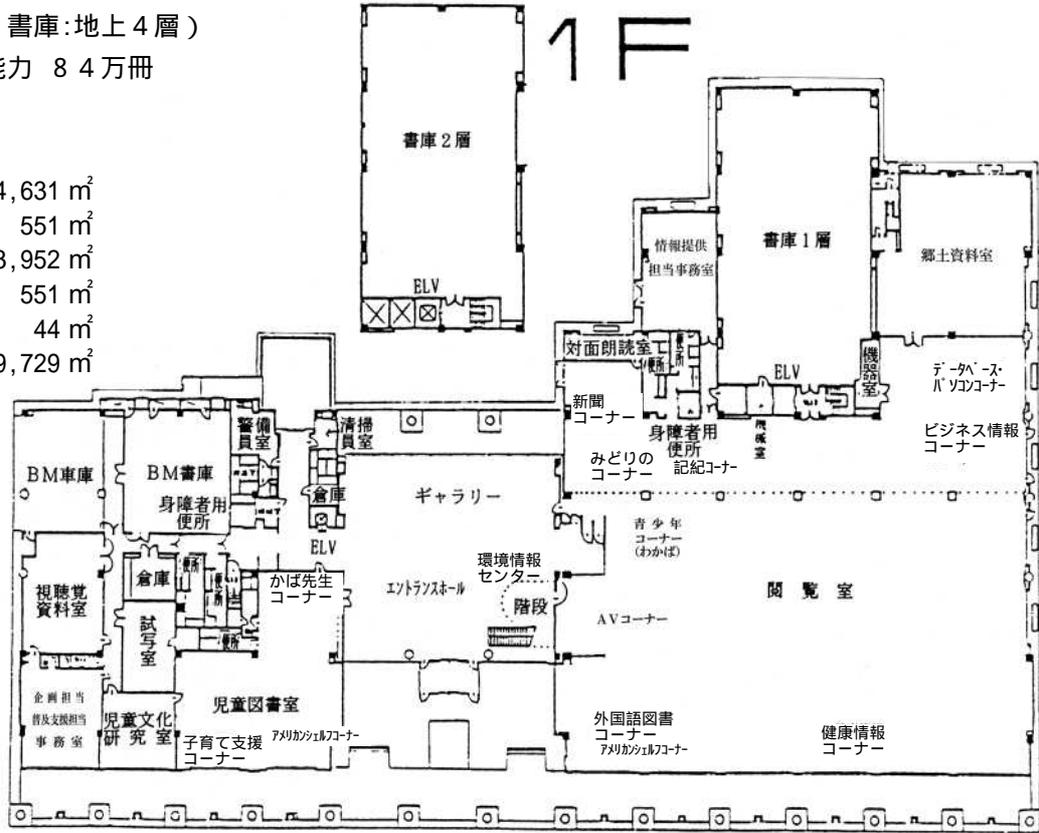
3 施設概況

(1) 構造

鉄筋鉄骨コンクリート造
 地上2階（書庫：地上4層）
 図書収蔵能力 84万冊

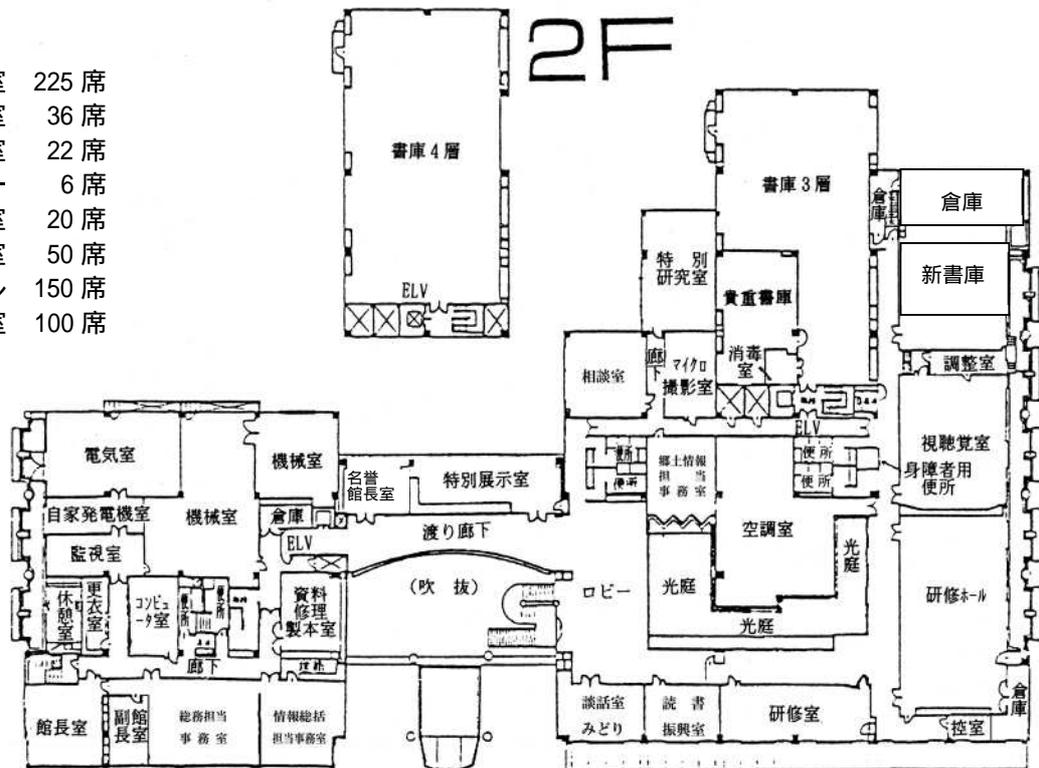
(2) 床面積

1階 4,631 m²
 551 m²
 2階 3,952 m²
 551 m²
 屋階 44 m²
 合計 9,729 m²



(3) 座席数

一般閲覧室 225席
 郷土資料室 36席
 児童図書室 22席
 AVコーナー 6席
 読書振興室 20席
 研修室 50席
 研修ホール 150席
 視聴覚室 100席



4 利 用 案 内

(1) 開 館・休 館

開館時間

一般閲覧室 午前9時～午後7時（日曜日・祝日は午前9時～午後5時）

児童図書室 午前9時～午後5時

休 館 日

月曜日（月曜日が祝日の場合は翌日）

年末年始（12月29日～1月4日）

特別整理期間（平成26年2月3日～平成26年2月10日）

(2) 貸 出

一人10冊まで 14日以内

ただし、児童図書室の本は5冊まで

(3) 電話案内

0985 - 29 - 2911	全般的な問合せ	総務・企画課総務担当
0985 - 29 - 2956	図書館事業の企画・広報	総務・企画課企画担当
0985 - 29 - 2956	巡回文庫、団体文庫、視聴覚事業、子ども読書	総務・企画課普及支援担当
0985 - 29 - 2970	資料の寄贈	情報提供課情報総括担当
0985 - 29 - 2596	図書の貸出・返却	情報提供課情報提供担当
0985 - 29 - 2972	資料の問合せ	情報提供課情報提供担当
0985 - 29 - 2954	郷土情報の問合せ	情報提供課郷土情報担当

(4) ファクシミリ

0985 - 29 - 2491（総務担当）

0985 - 29 - 2961（企画・普及支援担当）

0985 - 22 - 9070（情報提供担当）

(5) インターネットホームページアドレス（当館の図書、行事案内情報等の検索ができます）

<http://www.lib.pref.miyazaki.lg.jp/>

5 宮崎県内市町村立図書館一覧

館名	館長名	所在地	創設年月
宮崎市立図書館	新頭 宏光	〒880-0930 TEL 0985-52-7100 FAX 0985-52-7158 宮崎市花山手東3丁目25番地3	平6.5
宮崎市立佐土原図書館	函師 保光	〒880-0211 TEL 0985-30-1037 FAX 0985-72-2066 宮崎市佐土原町下田島20527番地4	平16.4
都城市立図書館	元明 晃	〒885-0073 TEL 0986-22-0239 FAX 0986-22-0251 都城市姫城町7街区22号	昭23.4
都城市立高城図書館(分館)	元明 晃	〒885-1202 TEL 0986-58-4224 FAX 0986-58-4245 都城市高城町穂満坊105番地	平21.4
延岡市立図書館	佐藤 賢了	〒882-0812 TEL 0982-32-3058 FAX 0982-22-0644 延岡市本小路39番地1	大7.7
延岡市立図書館立北方分館	甲斐 日出男 (兼)北方教育課長	〒882-0125 TEL 0982-28-5200 FAX 0982-28-5201 延岡市北方町川水流卯1236番地2	平13.4
延岡市立図書館立北浦分館	福島 定治 (兼)北浦教育課長	〒889-0301 TEL 0982-45-2466 FAX 0982-45-2466 延岡市北浦町古江1943番地1	平24.3
延岡市立図書館立北川分館	北林 俊一 (兼)北川教育課長	〒889-0192 TEL 0982-46-2047 FAX 0982-46-2065 延岡市北川町川内名7250番地	平25.4
日南市立図書館	岡本 武憲 (兼)文化生涯学習課長	〒889-2535 TEL 0987-25-0158 FAX 0987-25-1200 日南市飫肥2丁目6番18号	昭25.1
日南市立まなびピア図書館	岡本 武憲 同上	〒887-0013 TEL 0987-22-5666 FAX なし 日南市木山2丁目4番44号 日南市生涯学習センターまなびピア内	平14.3
日南市立北郷図書館	岡本 武憲 同上	〒889-2402 TEL 0987-55-2469 FAX 0987-55-2469 日南市北郷町郷之原乙1570番地	平元.8
日南市立南郷図書館	岡本 武憲 同上	〒889-3204 TEL 0987-64-0924 FAX 0987-64-0930 日南市南郷町中村乙7051番地25 南郷ハートフルセンター内	平7.12
小林市立図書館	山下 町子	〒886-0004 TEL 0984-22-7913 FAX 0984-22-7913 小林市大字細野367番地1	明41.6
小林市立図書館野尻分館	山下 町子	〒886-0212 TEL 0984-44-1100 FAX なし 小林市野尻町東麓1183番地2	平22.3
小林市立図書館須木分館	山下 町子	〒886-0111 TEL 0984-48-2954 FAX 0984-48-2120 小林市須木中原1741番地1	平22.3
日向市立図書館	梅野 美和子	〒883-0035 TEL 0982-54-1919 FAX 0982-54-5444 日向市春原町1丁目47番地	昭24.4
串間市立図書館	富高 賢	〒888-0001 TEL 0987-72-1177 FAX 0987-72-0803 串間市大字西方6524番地58	昭51.4
西都市立図書館	大河内 敏雄 (兼)社会教育課長	〒881-0003 TEL 0983-43-0584 FAX 0983-41-1113 西都市大字右松2606-1	昭49.12
えびの市民図書館	津曲 加津子	〒889-4311 TEL 0984-35-0242 FAX 0984-35-3040 えびの市大字大明司2146番地2	昭50.7
三股町立図書館	宮内 浩二郎 (兼)教育長	〒889-1901 TEL 0986-51-3200 FAX 0986-51-3751 北諸県郡三股町大字榊山3406番地8	平13.4
国富町立図書館	瀬尾 孝徳 (兼)社会教育課長	〒880-1101 TEL 0985-75-9577 FAX 0985-75-9558 東諸県郡国富町大字本庄4768番地2	平17.4
綾てるは図書館	中村 清久	〒880-1302 TEL 0985-77-0180 FAX 0985-77-0585 東諸県郡綾町大字北俣462番地2	平16.7
町立高鍋図書館	中里 祐二 (兼)社会教育課長	〒884-0003 TEL 0983-21-1152 FAX 0983-21-1153 児湯郡高鍋町大字南高鍋551番地	昭30.3
川南町立図書館	橋本 正夫 (兼)生涯学習課長	〒889-1302 TEL 0983-27-7111 FAX 0983-27-7100 児湯郡川南町大字平田2386番地3	平11.4
都農町民図書館	小泉 隆宏 (兼)社会教育課長	〒889-1201 TEL 0983-25-3316 FAX 0983-25-2683 児湯郡都農町大字川北5448番地2	昭50.12
門川町立図書館	安田 精一	〒889-0611 TEL 0982-68-0001 FAX 0982-68-0024 東臼杵郡門川町大字門川尾末1611番地1	平14.3
美郷町立西郷図書館	長尾 勇 (兼)教育長	〒883-1101 TEL 0982-66-2636 FAX 0982-66-2636 東臼杵郡美郷町西郷区田代645番地1	平11.4
美郷町立北郷図書館	長尾 勇 (兼)教育長	〒889-0901 TEL 0982-62-6205 FAX 0982-62-6193 東臼杵郡美郷町北郷区宇納間401番地	平15.5
美郷町立南郷図書館	長尾 勇 (兼)教育長	〒883-0306 TEL 0982-59-1605 FAX 0982-59-0129 東臼杵郡美郷町南郷区神門287番地	平24.4
高千穂町立図書館	黒木 康雄 (兼)教育長	〒882-1101 TEL 0982-72-7219 FAX 0982-72-5515 西臼杵郡高千穂町大字三田井723-1	昭49.7



人づくりと地域づくりに役立つ図書館

宮崎県立図書館

URL (ホームページアドレス) <http://www.lib.pref.miyazaki.lg.jp/>

所在地 〒880-0031

宮崎市船塚3丁目210番地1 宮崎県総合文化公園内

(案内図)

電話

総務・企画課

総務担当 0985-29-2911

企画担当 0985-29-2956

普及支援担当 0985-29-2956

情報提供課

情報総括担当 0985-29-2970

郷土情報担当 0985-29-2954

情報提供担当 0985-29-2596

レファレンス用 0985-29-2972

FAX

総務・企画課

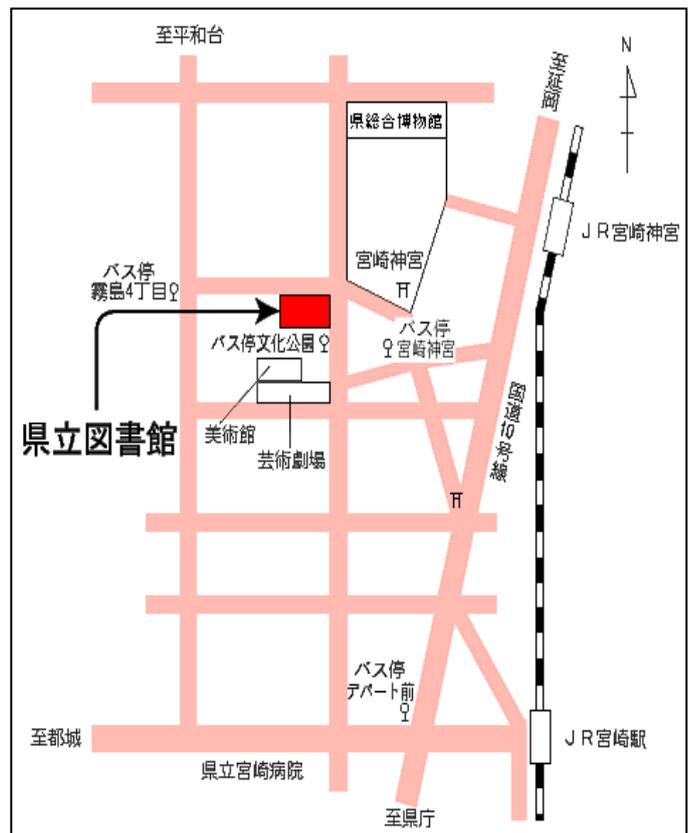
総務担当 0985-29-2491

企画担当 0985-29-2961

普及支援担当 0985-29-2961

情報提供課

情報提供担当 0985-22-9070



平成25年度 宮崎県立図書館要覧

発行年月日 平成25年9月

発行人 宮崎県立図書館

〒880-0031 宮崎市船塚3丁目210番地1

宮崎県総合文化公園内

電話 (0985) 29-2911 (総務・企画課)

FAX (0985) 29-2491 (総務・企画課)